産業建設委員会記録

○開催日時

令和３年９月１３日　午前１０時００分～午後２時３３分

○開催場所

第３委員会室

○出席委員（８人）

委員長	森満　晃	委員	塩田耕大郎
副委員長	宮里兼実	委員	成川幸太郎
委員	大田黒博	委員	坂口正幸
委員	石野田浩	委員	岩切正之

○その他の議員

議員	瀬尾和敬	議員	犬井美香
議員	屋久弘文	議員	溝上一樹

○説明のための出席者

農林水産部長	中山信吾	スポーツ課長	田中英人
農政課長	小城哲也	国体推進課長	石原勝浩
畜産課長	木場憲司	建設部長	久保信治
林務水産課長	山元義一	建設政策課長	内田俊彦
耕地課長	山内哲郎	建設整備課長	鍋倉省司
六次産業対策課長	寺田和一	建設維持課長	中島弘喜
		主幹兼維持グループ長	樋口武士
商工観光部長	有馬眞二郎	都市計画課長	香月貴廣
経済政策課長	田中道治	区画整理課長	城之下誠
専門職	高山和人	入来区画整理推進室長	上川原雅之
産業戦略課長	堀ノ内孝	建築住宅課長	南忠幸
観光・スポーツ対策監	花木隆		
観光・シティセールス課長	橋口浩文	農業委員会事務局長	道下和弘

○事務局職員

事務局長	道場益男	課長代理	前門宏之
議事調査課長	川畑央	管理調査グループ	堀之内孝充

○審査事件等

審　　査　　事　　件　　等	所　　管　　課
議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 （所管事務調査）	農業委員会事務局 農　　政　　課 林　務　水　産　課 畜　　産　　課 耕　　地　　課
（所管事務調査）	六次産業対策課
議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 （所管事務調査）	建　設　政　策　課
議案第７９号　薩摩川内市薩摩高城駅ポケットパーク施設条例の制定について 議案第８０号　薩摩川内市普通公園条例の一部を改正する条例の制定について 議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 （所管事務調査）	建　設　整　備　課
議案第８１号　道路メンテナンス事業川内河口大橋耐震補強（Ｐ６）工事請負契約の締結について 議案第８２号　道路メンテナンス事業川内河口大橋耐震補強（Ｐ８）工事請負契約の締結について 議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 （所管事務調査）	建　設　維　持　課
議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 （所管事務調査）	都　市　計　画　課
議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 議案第８４号　令和３年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算 議案第８５号　令和３年度薩摩川内市天辰第二地区土地区画整理事業特別会計補正予算 （所管事務調査）	区　画　整　理　課
議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 議案第８６号　令和３年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計補正予算 （所管事務調査）	入来区画整理推進室
議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 （所管事務調査）	建　築　住　宅　課 経　済　政　策　課
議案第７８号　薩摩川内市工業等開発促進条例の一部を改正する条例の制定について 議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 （所管事務調査）	産　業　戦　略　課
議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算 （所管事務調査）	観光・シティセールス課 ス　ポ　ー　ツ　課
（所管事務調査）	国　体　推　進　課

△開　　会

○委員長（森満　晃）ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の委員会は、お手元に配付の審査日程により、審査を進めたいと思いますが、御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。

よって、お手元に配付の審査日程により、審査を進めます。

ここで、傍聴の取扱いについて申し上げます。現在のところ、傍聴の申出はありませんが、会議の途中で傍聴の申出がある場合は委員長において随時許可します。

―――――――――――――――

△農業委員会事務局の審査

○委員長（森満　晃）それでは、農業委員会事務局の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）まず、議案第８３号令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○農業委員会事務局長（道下和弘）予算に関する説明書の３６ページをお開きください。

６款１項１目農業委員会費の農業委員会管理運営費におきまして、４月の人事異動に伴う職員給与費の減額補正を行うものでございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項の説明は行いませんので、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、農業委員会事務局を終わります。

―――――――――――――――

△農政課の審査

○委員長（森満　晃）次は、農政課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の説明を求めます。

○農政課長（小城哲也）歳出予算について説明いたしますので、予算に関する説明書の３６ページをお開き下さい。

６款１項２目農業総務費でございます。説明欄を御覧ください。今回の補正は、令和４年４月人事異動に伴う給与費の減額、それと普通旅費におきましては、令和２年６月に甑島地域において、ミカンコミバエが確認されて以降、誘殺回数が増加しており、侵入警戒調査のため職員の甑島への出張旅費が増加しております。本業務は、国の機関である門司植物防疫所からの依頼により対応しておりますが、鹿児島県と薩摩川内市が委託契約をした上で、国が旅費額を負担することで６月に合意されたことから、増額の補正をお願いするものでございます。

続きまして、５目園芸振興費でございます。説明欄を御覧ください。園芸振興育成事業費では、まず、活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金は、活動火山による降灰の影響に伴う農産物の被害を軽減するための共同機械の導入、施設整備及び被覆資材の更新を行うため、増額の補正をお願いするものです。事業内容につきましては、ぶどう、きんかん、トマト農家の１団体と茶農家１団体です。補助率は、県６５％、市５％でございます。

次に、新規就農者支援事業補助金は、新規就農者の確保・育成を図るため、就農準備や経営開始時の経営確立を支援するものでございます。当初予算で、２名分を計上していましたが、本年４月に農業公社研修生２名と認定新規就農者５名が見込まれることから、予算現額に対して２８０万円が不足することから、今回、増額の補正をお願い

するものでございます。

続きまして、歳入について説明いたしますので、予算に関する説明書の１４ページをお開きください。

１７款２項４目１節農業費補助金です。説明欄を御覧ください。活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金は、先ほど歳出で説明いたしました、県からの補助金６５％でございます。

次に、１７ページをお開きください。

２２款４項３目１節農業受託事業収入です。説明欄を御覧ください。特殊病害虫対策事業業務受託金は、先ほど歳出で説明いたしました、ミカンコミバエの侵入警戒調査に係る普通旅費でございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（大田黒　博）１点だけ。ミカンコミバエが、ニュース等でありますように、甑島を含めて心配されておりますが、我々に分かりやすいように、今、どういう状況で、どの辺りの心配する度合い等があるのか、説明いただけますか。

○農政課長（小城哲也）ミカンコミバエにつきましては、後もって所管事務調査でも報告いたしますが、現在までに薩摩川内市で４匹確認されております。これにつきましては、果実、それから果菜類に雌が卵を産みつけますと幼虫が孵化するということで、それが廃棄、出荷できないということで、農家にとりましては多大な被害を被るということで、事前にテックス板、殺虫板ですが、そういったものを設置して対応を図っていくということで、現在まで、県内におきましては２２匹ほど確認されております。

○委員（大田黒　博）県が主体になって、その確認等を含めて、方針・対策を打つんでしょうけれども、課長以下、皆さん方はどういう作業とか、それに携わる方々の、今後取られる対応は何かあるんでしょうか。

○農政課長（小城哲也）この対策につきましては、トラップに、誘殺が確認されてから、門司植物防疫所の指導により、県と市、また各甑島の支所も含めまして、まず、誘殺板の設置、あと定期的に、果実に幼虫など発生してないか、そこを割って確認する作業、そういったことをしてございます。

令和２年度におきましては、人数で３１人、それと２０回ほど調査に行きまして対応を図っております。今年につきましては３回ほど、５人で対応しているところでございます。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局に説明を求めます。

○農政課長（小城哲也）産業建設委員会資料の１ページをお開きください。まず、新規就農者育成拠点施設に係る進捗状況について説明いたします。

１番目の令和３年度執行状況につきましては、（１）のアスベスト調査業務委託につきましては、調査対象の七つの施設について、いずれもアスベストは検出されませんでした。（２）の新規就農者育成拠点施設解体工事につきましては、工事期間は令和３年９月１日から１１月２９日までの９０日間でございます。工事につきましては、配置図にありますとおり、水路を挟みまして、左側の農業公社側になります。２番目の令和４年度執行予定は記載のとおりでございます。

続きまして、資料の２ページをお開きください。農業経営基盤強化法に基づきます市構想策定（見直し）について説明いたします。

１番目の、農業経営基盤強化法に基づく市構想の策定（見直し）につきましては、効率的かつ安定的な農業経営を育成するため、地域において育成すべき農業経営の目標を明らかにし、農業経営基盤を促進することを目的とした、農業経営基盤促進法に基づき、県はおおむね５年ごとに基本方針の策定を行い、市町村は基本方針の期間中の基本構想を策定することとなっていることから、鹿児島県が令和３年３月に基本方針を策定（見直し）したことから、本市におきましても、令和３年度中に策定する必要があることから、現在策定作業を実施しております。２番目には、基本構

想策定の４つのポイントについて記載してございます。

３番目には、策定スケジュールについて記載してございます。

４番目には、現在の策定スケジュールについて、薩摩川内市技術員連絡協議会を中心に作業を進めており、年間目標所得水準、年間労働時間を設定したところであります。

続きまして、資料の３ページをお開きください。薩摩川内市におけるミカンコミバエの発生状況の対応について説明いたします。

１番目に令和３年９月５日の３世代相当日までに、新たな確認がなかったことから、９月６日、初動対応が解除され、通常体制に移行されたことを報告いたします。（２）には、その他の状況といたしまして、いちき串木野市でのミカンコミバエの確認に伴い、隈之城地区内のトラップ設置と、県外でミカンコミバエが発生していることを受け、追加対策といたしましては、甑島全域に誘殺板を設置いたしました。設置内容は、表に記載のとおりです。

その下の２番目と３番目については、御確認くださるようお願いします。４番目につきましては、令和３年度におけます鹿児島県内での誘殺状況でございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これを含め、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（塩田耕大郎）認定農業者は、本市で何人ぐらいいらっしゃるんですか。

○農政課長（小城哲也）認定農業者につきましては、総体で１８９名、うち耕種部門１０３名、畜産が８６名でございます。

○委員（塩田耕大郎）そのうち、甑島は何名ですか。

○農政課長（小城哲也）甑島につきましては、里が４名、上甑が１名、下甑が１名の計６名でございます。

○委員（塩田耕大郎）目標を、所得水準を３５０万円と設定されているようですが、私も前の本会議だったと思うんですけども、甑島で食える農業をしている人はいないと。そこで、農業指導員、普及所の先生方にもお願いして、まず地元の生産者のやる気が問題なんですけど、甑島に合った、何か研究してほしいと、取り組んでほしいと、その旨お願いしていたんですけど、その後、何か、そういう動きがありましたか。

○農政課長（小城哲也）果樹におきましては、新たな品目としてアボカドを栽培、試験的に栽培しているということでございます。あとは、バレイショ等が前から栽培されているところでございます。そのほかにつきましては、また今後、適地性を見ながら検討していきたいと思っております。

○委員（塩田耕大郎）そのように、前向きに取り組んでいただいてありがたいことだと思いますが、バレイショについては、今年も、どこもだったでしょうけど、あの雨でもう物にならなかったというようなことを聞いておりますので、アボカド等新しい、そういうものができたらいいなと思いますので、今後とも、積極的に取り組んでいただくよう要望しておきたいと思います。

○委員（石野田　浩）新規就農者育成拠点施設について、ちょっと聞きたいんだけど、この仕分けを農業公社側、ＪＡ北さつま側というふうに仕分けがしてあるんだけども、これはどういう形で、そういう仕分けがしてあるのですか。

○農政課長（小城哲也）これにつきましては、定期的に農協、それから関係する公社、また、県含めまして協議を数回重ねてきておりまして、その中で、今あります図面のとおり、水路を見て、左側を農業公社、右側をＪＡ北さつまという形で振り分けがなされてきたところでございます。

○委員（石野田　浩）右側のＪＡ北さつまのほうの、右側です、図面では。ここに建屋があるんですよね。こういうのは全部取り壊すのですか。

○農政課長（小城哲也）中央部に管理棟がございます。これは、研修施設とか、講義をする場とか、そういったものに、ここは残しますけど、あとの倉庫とかにつきましては、非常に老朽化が激しいということで、今後、撤去をする考えでございます。

○委員（石野田　浩）もうちょっと具体的に教えてほしいんだけれども、公社側の敷地と、それからＪＡ北さつま側の敷地、あるんだけれども、目的は、どういうふうに仕分けしてあるんですか。

○農林水産部長（中山信吾）仕分けの関係でございますけれども、まず、農業公社においては、現在、事務所が市の入来支所にございますので、

特に建屋については、そういう事務所的なスペースは要らないということでございまして、実際に、研修圃場として集約して、いろんな作物を研修ができる圃場を造っていただきたいということでございましたので、今回、この地図の真ん中の水路から向かって左側のほうが、そういうほぼ全てが農地として、圃場として使えますので、そういう要件を満たしているということから、左側は公社にいたしました。

一方で、ＪＡ北さつまさんにおきましては、新規の後継者育成施設として、座学、研修、そういうものを含めての利用を、今、計画されているということで、こちらのほうは、施設、建物も必要だということでございましたので、お互いの利用したい目的等々を鑑みまして、今、こういう形で、水路を隔てまして、農業公社側と北さつま側と分けて、施設をそれぞれで整備していただこうというようになっているというのが、これまでの状況でございます。

○委員（石野田　浩）ということは、ＪＡ北さつま側は、圃場としては利用しないということか。

○農林水産部長（中山信吾）当然、圃場としても、そういう実習圃場もされますけども、今ある建物について、先ほど委員からおっしゃった、建物もＪＡ北さつまさんとしては利用したいということでございまして、この右側の部分については、そういう座学等もできて、かつ、そのような実習圃場も兼ねた施設を整備されるというようなことを、今、検討されていると聞いております。

○委員（石野田　浩）右側のＪＡ北さつまの圃場のほうを、撤去作業を延期するようなこと書いてあるけど、どういう形でそういうふうになったのか。

○農林水産部長（中山信吾）ちょうど中段ほどの米印で書いてございますとおり、ＪＡ北さつま様におかれては、本年度、今後３年間のＪＡ北さつま、農協の農業振興の在り方等を目指す、第５期の中期３か年計画というのを策定をされているところでございまして、その中で、この新規就農者拠点施設についても、どこを残して、どのように活用しようかとか、そういうところを具体的に、今、検討をされているという状況でございますので、そこがはっきりしない中で、建物をむやみに撤去してしまって、後で必要だったとか、戻りがないようにするために残しているところでございます。

なお、管理棟については、電源立地交付金で鹿児島県において建てられている関連もございまして、補助金適正化法の関係もございますので、この管理棟というのは、当分の間は残していかないといけないという制約もついている施設だということで、御理解いただければと思います。

○委員（石野田　浩）今、私が聞いたのは、その管理棟を残す、潰すじゃなくて、パイプの撤去などが遅れたということが書いてあるでしょう。何で遅れたのかなということです。先ほど、今、計画中だという話で遅れたのならそれでいいんだけど、今また部長が管理棟もどうのこうのと言うから、管理棟はもうさっき言ったように、利用するということでしょう。圃場のほうのパイプだとか、配線だとか、そういうのを壊すのは何で遅れたのかというのを聞いたわけ。その計画があるから遅れたということでしょう。予算のことじゃないんですね。

○農林水産部長（中山信吾）はい。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、農政課を終わります。

――――――――――――――――

△林務水産課の審査

○委員長（森満　晃）次に、林務水産課の審査に入ります。

――――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○林務水産課長（山元義一）歳出予算から説明いたしますので、予算書の３９ページをお開きください。

６款４項１目林業総務費です。これは、４月の人事異動に伴う職員の給料等の調整を行うものであります。

次に、６款４項２目林業振興費です。説明欄を

御覧ください。林業振興育成費の委託料は、有害鳥獣駆除対策事業の委託料になります。有害鳥獣駆除対策事業の内容につきましては、補正予算の概要の１１ページの上段に記載してございます。県補助金である緊急捕獲活動支援事業の配分決定に伴い増額するものと、市単独分である一般捕獲を有害鳥獣捕獲頭数の実績見込みにより増額するものであります。

４０ページをお開きください。

６款５項１目水産総務費です。説明欄を御覧ください。こちらも、４月の人事異動に伴う職員の給料等の調整を行うものであります。

次に、６款５項３目漁港管理費です。説明欄を御覧ください。漁港航路泊地浚渫事業の工事請負費になります。内容につきましては、補正予算の概要の１１ページの中段に記載しております。台風や大雨、季節風の波浪や潮流の影響により、砂が片野浦漁港及び唐浜漁港へ堆積し、干潮時に漁港を使用する際の障害となっていることから、砂を除去し正常な状態に戻す工事を実施するものであります。

次に、歳入予算について説明いたします。予算書の１４ページをお開きください。

１７款２項４目農林水産業費補助金の３節林業費補助金は、説明欄を御覧ください。先ほど歳出で説明いたしました委託料に対する補助金になります。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（塩田耕大郎）片野浦漁港について、本会議でも要望していたんですけれども、予算がついたということで、現地の人たちも喜ぶことだと思いますが、聞けば、４年か５年に１回ぐらい同じような状況が繰り返されるということなので、前もって、４年後ぐらいには予算というか、ちゃんと見込んで、そういうことができないのか、伺いたいと思います。

○林務水産課長（山元義一）市の管理する漁港、片野浦漁港を含みまして、長寿命化計画を立てて、年次計画的に取り組んでいるところです。

この片野浦漁港のこの浚渫につきましても、実は、計画では来年度、令和４年度に計画していたのですけれども、今回、砂がたまったということで、必要な部分だけを取り除いて、来年度は国庫事業に入れながら、取り除くことにしているんですけれども、そのように、計画的に長寿命化計画を立てておりますので、年次的に浚渫していきたいというふうに考えております。

○委員（塩田耕大郎）そのようにしてもらわないと、もう毎回、地元から、私も立場上、現場を見に行ったり、極力そういうのがないように、今後とも計画的に、あそこはもう抜本的に、そういう港ですから、支所にもきちんと管理してもらって、苦情が出ないように今後ともよろしくお願いしときたいと思います。

○委員（成川幸太郎）有害鳥獣駆除対策事業のところでちょっと確認、お尋ねしたいんですが、その鳥獣被害対策実践事業と有害鳥獣捕獲業務委託料ということで、頭数的にほぼ一緒ですよね。これはもう、県のほうの主体と、市の一般、それはいいんですけど、猟期中のところで、鹿が鳥獣被害対策実践事業では２００頭が８９７頭で、一般捕獲のところでは３００頭が８９７頭となっているんですけども、当初この実践事業と一般捕獲では、ちょっと頭数が変わっていたと。

○林務水産課長（山元義一）当初予算のときには、今、言われたように、県の補助金のほうは２００頭で予算措置しておりまして、市の単独では３００頭と予算しておりました。

今回、県の補助金、補助事業の増額で、合計８９７頭になりましたので、市のほうは差額の５９７頭だけを増額しまして、最終的な捕獲頭数としては、現時点では県と同じ８９７頭としたところでございます。

○委員（成川幸太郎）この頭数ですけど、実績が増えているのは非常にありがたいことだと思うんですが、この猟期中の分は、左側のその頭数にプラスしていいんですか、この中に含まれているんですか、どっちですか。

○林務水産課長（山元義一）左側の、例えば、鹿のほうで説明いたしますけど、鹿の１，３３０頭から２，３２２頭、これは４月から１０月までの、猟期以外の捕獲分で、その右側のほうの猟期中、これが１１月から翌年の３月までの捕獲見込みの頭数と、内示のあった頭数ということになります。

○委員（塩田耕大郎）すみません。もう一件、

先ほどの関連ですけど、片野浦漁港と唐浜漁港、工事は入札とかあるんでしょうけど、いつぐらいからの予定ですか。

○林務水産課長（山元義一）予算が通りましたらすぐに発注の手続に入りたいというふうに考えております。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、林務水産課を終わります。

―――――――――――――――

△畜産課の審査

○委員長（森満　晃）次は、畜産課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○畜産課長（木場憲司）予算に関する説明書の３７ページをお開きください。

６款２項１目畜産総務費で、１０９万８，０００円の減額となっております。これは、４月の人事異動に伴う職員給料、職員手当等、共済費、費用弁償の補正額を計上させていただいたものでございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（大田黒　博）ちょっとせり市の関係でお尋ねをいたしますが、今月の１０日、１１日、２日間にわたりせり市が行われたんですが、相当数、５９６頭ということで、平均で１０日が７３万円、雌が７３万円、去勢が７９万円ということでした。１１日が平均が７２万円、去勢が７４万円、曽於地区、肝属地区、こういう形で新聞に載りますけれども、平均等含めて、まだ歩留まり、一番、薩摩市場はいいのかなという判断はしているんじゃないかなと思うのですが、１１日辺り、少し聞いてみますと、せりをされる方々が、コロナの関係でしょうか、少し少なかったんじゃないかという意見も出ていたのですが、この平均の価格の評価をどう見ておられるのかというのと、せり場に購買者がどういう状況だったのか、ちょっと教えていただけませんか。

○畜産課長（木場憲司）９月せり市が先週金土、開催されました。今、委員がおっしゃられたような動きの相場であったと思います。

総平均につきましても、前月比で５万円弱ほど下げ相場となりました。これは、全国的な傾向でございまして、今、下げ相場だというふうに感じております。これは、枝肉相場も今年の５月から下げ基調になっております。どうしても枝肉相場、肥育農家の相場が下がれば、子牛にも影響するという流れできているのかなと思います。

その大きな要因は、新型コロナウイルスの感染拡大影響に伴う緊急事態宣言等の拡大に伴う飲食店の自粛、これで黒牛、牛肉のサーロイン系の上級部位の売れが悪いというふうにも聞いております。若干、輸出のほうは好調なような気配はありますけど、それで何とか上級部位はもっているというような動向だと思われます。

前月の８月の子牛せり市の全国平均では、薩摩市場が全国１位の価格ランキングになっております。全国平均よりも６万７，０００円ほど高いという市場になっております。まだ、先ほど委員も

おっしゃられましたとおり、薩摩市場におかれましては、繁殖素牛、生産基盤がしっかりしているというところからしますと、全国よりも下げてはいますけど、相場的には、いいのかなという判断をしております。

購買者につきましては、総体的に、９月せり市は若干少な目だったのかなという気もします。それも、先ほどの新型コロナウイルスの感染拡大の影響かなというふうには見ております。

○委員（大田黒　博）ありがとうございました。高齢者の方々が、いつまでやれるかなという判断の下で、ものすごく心配しておられる状況です。今、課長が申された、そういうものが、やはり情報は入っているんでしょうけども、心配の部類に入っていくのかなと思いながら、頑張っていただくその中で、何とかお手伝いできないのかなと思いながら、皆さん方もそのとおりのもので、せりに参加されているのかなと思いながら、活気はすごくあるもんですから、その辺を含めて、再度また注視していただいて、今のような継続的なもので続けていただければと思っております。

○委員（塩田耕大郎）甑島といえば、今や全国的にも、それぞれの機関の努力を頂いて、名が知られておるわけですけども、そこで畜産を、いわゆる甑ブランドとしての甑牛をそのように育てられないのか、そういう指導ができないのか、そこらをお聞きしたいんですが、いかがでしょうか。

○畜産課長（木場憲司）ただいまの御質問に対しましては、今、甑島の牧場経営は、放牧体系という繁殖の子牛生産目的の体系でございます。

子牛もせり市、生後４か月齢で、５か月齢で農協さんが運営しますキャトルセンターに預託をするという流れで子牛を出荷しているという現状もございます。

甑ブランドというところからしましても、いろいろなところの手が入っていると、また餌の統一性なり、飼養管理の基準のもっていき方というところも検討していかないといけないところで、ちょっとハードルは高いかなとは、現在は考えております。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、畜産課を終わります。

―――――――――――――――

△耕地課の審査

○委員長（森満　晃）次は、耕地課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○耕地課長（山内哲郎）まず、歳出予算について御説明いたしますので、予算書の３８ページをお開きください。

６款３項１目農業土木総務費です。説明欄を御覧ください。これは、４月の人事異動に伴う職員の給料等の調整を行うものであります。

次に、６款３項２目農業施設改良費です。これは、農業施設県営事業負担金に関する財源調整に伴うものですが、歳出額は変わらず、財源内訳に変更が生じたものであります。

次に、６款３項３目湛水防除事業費です。これは、会計年度任用職員の異動に伴う通勤費の増額と宮里町に配置している平良排水機場の非常用発電設備が故障したため、取替工事が必要となったものであります。

次に、予算書の５７ページをお開きください。１１款１項３目過年公共農林水産施設災害復旧事業です。これは、昨年の台風１０号により被災しました勝目町の勝目川に設置されております東舞渕頭首工の災害復旧工事に関する地質調査の結果において、躯体を支持する地層が想定していた水平ではなく、川幅１９メートルに対して、約５メートルと大きく傾斜していることが判明したことから、追加の調査・設計を行う必要が生じたものです。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（大田黒　博）１点だけ。ここ、７月、８月で災害が頻繁にありましたよね。現場を少し確認をしますと、水田等が、水口、水が出るところですね、あそこからトラフにつなぎまして、トラフを流れ出るというようなことであるんですけど、雨量が多い関係で、トラフを越えて道路をやってしまうというか、崩れている、そういうことが頻繁にあるんですよね。いろんな方々と話をする中に、これだけこう、地球温暖化を含めてでしょうから、あまりにも小さなトラフを越えて道路まで行くわけですよね。だから、長期的な考え方でいくと、災害においてのその雨量が多いの中での、トラフの機能を果たしていないというようなもので、トラフを少し大きくできないものだろうかという、計画的なものでもいいですけども、二度三度も道路が浸水したり、崩れているわけですよ。

当局の方々も、課長以下、大変なんだろうなと思いながら、計画的なもので、その辺のトラフを大きく変える、あるいはますをしっかりと置く、その辺を含めて、今後の考え方としてはあり得ないのでしょうかと思っての質問です。

○耕地課長（山内哲郎）今、大田黒委員のほうから御指摘がありました、水路の規格等、これに関しましては、どうしても水田等が低地にあるということで、やはり大雨のとき、はけきれてなかったりということがあることは承知しているところです。耕地課サイドとしましては、壊れたところを優先的に補修・修繕等しているところですけど、そのような、どうしても、ここはもうワンサイズ、もうツーサイズ規格が足りないというところがあります。

また、地元土地改良区等を通じて御要望いただければ、その対応を検討していきたいと思っているところです。

○委員（大田黒　博）ぜひ、そのような検討を、いろいろ関連する方々とも意見を回収しながら進めていただければなと思います。

それと、もう一点だけ。今回、災害においての激甚災害ですかね、それが少し採用されましたよね。その中に、一つ、自分の水田が崩れて、もうちょっと早く、７月、８月、９月ですよね。その辺が、皆さん方が努力されて激甚災害になれば、自己負担等が軽減されるわけですよね。

その辺は本当にありがたいことで、２０万円かかるところが五、六万円で済むとなると、それならやりたいという方向性が出てくるんじゃないだろうかなと思いながら、もうちょっとその方向性を、皆さんに伝える、そういうものを何とかいい形での、３分の２の負担が、自己負担等含めて、通常にはあるんでしょうけども、説明する中に、地元と連携を取りながら、そういう方々に概略を含めて、ちょっと説明ができればありがたかったのかなと思ったりもしますので、その辺を少しお願いをしておきます。

○耕地課長（山内哲郎）私どもとしましても、農地、農業用施設等の災害復旧に関しましては、第一義的には公共災害、次に単独災害、最終的には災害にかからない農地等については、個人への単独災害の補助事業ということで考えているところです。

今回、激甚災害等いろいろ指定があったところですけど、できるだけその辺の情報を早く取り入れまして、できる範囲で、なるべく早く地権者、耕作者の方には情報提供してまいりたいと考えているところです。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、耕地課を終わります。

―――――――――――――――

△六次産業対策課の審査

○委員長（森満　晃）次は、六次産業対策課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）議案はありませんので、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）六次産業対策につきま

しては、本年度当初予算でも１億円弱の予算が組まれているんですけども、その支援事業で５，２００万円、もう計画があったんだろうと思います、その状況がどうなっているのか。

それと、新規事業でこしき地域流通販売促進事業は六次産業対策でされているのだけど、そこら辺の状況というのは、どのようになっているんでしょうか。ちょっと進捗状況を教えてください。

○六次産業対策課長（寺田和一）まず初めに、順番はちょっと違いますが、新たに今年度から始めましたこしき地域流通販売促進事業補助金の関係です。これは、５月末までに申請があった者ですが、これが最新でございまして、工事を含む１８者から申請があります。補助金の執行率でいきますと、４８％程度申請がありまして、現在、これにつきましては、流通販売ですとか、あとは研修ですとか、そういったものに御利用になりたいということで、実行中でございます。まだしっかりとした数字は出ておりません。

それから、六次産業化の予算についてでございますが、当初につきましては、令和３年度中、今年度中に六次産業化に踏み出したいという意向の相談を受けておりました。そのうちで、法人１件程度を見込んでの予算計上でございましたが、今のところ、この新型コロナの中で、やはり事業を進めるのに、更に慎重になっておられまして、相談は引き続き承っているんですが、なかなか実現に至っていないところです。

ただし、それ以外では、六次産業化について新たに取り組んでみたいんだけれども、また今後、話を聞かせてくださいと言われる方、それから農商工連携についてを踏み出してみたい、そして販路拡大についても、ちょっと計画をしてみたいということで、今、少しずつですけれども、再度、話を聞きたい、それから新たに話を聞きたいという方々が、少しずつですが出てきているところです。

○委員（成川幸太郎）六次産業につきましては、当初からいろいろ話題をまいてきているんですけども、これが市の産業発展につながれば、すごくいいことだと思うんですけども、当初から、ばらまき事業じゃないかと言われていたので、もっと実績の上がる努力を、特に、六次産業、最近こうかすんでるから、全国的にもそうなんですけども、せっかくこうやって予算も組んで、対策課もあるわけですから、そこら辺の発信というのを、今回も所管事務は、何もなしでしたけど、やっぱり発信をしていただいて、実際に活動しているんだということを示していただきたい。進んでいるものは進んでいるで、いいほうに進めていっていただければと思います。

○六次産業対策課長（寺田和一）棚田の件ですが、通常であれば、新年度当初に農政課などと一緒になりながらこのような事業を展開しているので、ぜひ御活用くださいというのが、各地域ごとでの説明会が開催できるんですけれども、今年度はできていないのが実情でございます。

ただし、広報紙を活用させていただきまして、六次産業対策課としては六次産業化支援事業を含む各種の事業を展開しておりますので、御相談くださいということは、皆さんにはお知らせを、紙面を借りてですけれどもしております。ただ、これがまだ足りないというところでございますので、何かしら手段を使ってでも、ＰＲをしながら市内の農家の方が六次産業化に取り組まれるように努力はしていきたいと思います。

○委員（成川幸太郎）ぜひ取り組んでいただきたいと思います。私はもう当初から一次産業の六次産業化というのはかなり厳しいだろうから、農商工連携をして、この産業の発展につなげるべきじゃないかということを言ってきておりましたので、その農商工連携の件についての興味がある方があったら積極的に進めて、アピールをしていただきたいと思います。

○委員（石野田　浩）今の件に関連して、当初予算で１億円の計画があったという話が、今、なかなか進んでないという話、それはもう理解できるのだけども、その人がやる気を失わないように、計画が今進行してないところであっても、いろんなコミュニケーションを取りながら、次年度には必ずやっていきますよ、あるいはコロナが解決したらやりますよという、そういう気持ちを大事にしてやらなきゃいけないと思うので、その辺をぜひまたフォローしてあげてください。新しい人も当然そうなのだけれども。

○六次産業対策課長（寺田和一）今、石野田委員が御指摘なさったところですけれども、先ほど私が話をしたのが、昨年度から考えていて、ち

ょっと萎縮といいますか、下火になられた方でしたけれども、もう一度、頭の整理も含めて、また考えてみたいので、資料や話をしてほしいということがございましたので、そのようなことは引き続きやっていきます。

それから、六次産業化、確かに、品物を作るだけであればいいんですけれども、その販路先をしっかりと確保した上でのことになってまいりますので、やはり皆さん、この状況下であれば、そこの販路先というのが確実なものがございませんで、どうしても、まずは一次産業をしっかりしていかないといけないというお気持ちになっていらっしゃるのではないかなと思います。そこにつきましても、何かしら、この状況が変わったときには、お手伝い、すぐできるような体制でいきたいと思います。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、六次産業対策課を終わります。

―――――――――――――――

△建設政策課の審査

○委員長（森満　晃）次は、建設政策課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○建設政策課長（内田俊彦）予算に関する説明書、２４ページをお開きください。

２款１項１３目地籍調査費です。主な内容は、説明欄のとおり、４月の人事異動に伴います職員給与関係の調整による増額が主なものになります。

次は、４３ページをお開きください。

８款１項１目土木総務費です。主な内容は、先ほどと同じで４月の人事異動に伴います給与関係の調整による増額となります。

歳入の補正はございません。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局に説明を求めます。

○建設政策課長（内田俊彦）川内川水系流域治水プロジェクトについて御報告をいたしますので、産業建設委員会建設部資料の１ページをお開きください。

まず、経緯と目的について説明をいたします。

このプロジェクトにつきましては、令和元年東日本を襲った台風により、広範囲にわたり記録的な大雨など、近年、毎年必ず大規模な自然災害が発生しております。また、日本特有の急峻な地形であり、河川が急勾配であることなど、脆弱な国土を有しており、自然災害リスクが極めて高い状況である中で、氾濫危険水位を超過した河川数が近年５倍となるなど、気候変動の影響が顕在化しているところでございます。

このような状況から、国土交通省では、気候変動による水害リスクの増大に備えるためは、これまでの河川管理者の取組だけでなく、集水区域から氾濫域にわたる流域に関わる関係者が、主体的に取り組む社会を構築する必要があるとされたところでございます。

このような経緯によりまして、川内川の流域において、あらゆる関係者、国土交通省・鹿児島県・沿線市町・企業等により、川内川流域全体で行う治水、流域治水への転換をすることによって、施策や手段を充実し、それらを適切に実施することで、効率的・効果的な安全度の向上を実現しようとするものでございます。これが、川内川水系流域治水プロジェクトになります。

プロジェクトの概要について説明をいたします。１ページのプロジェクトの最終取りまとめになりますが、一つ目に、左上に太い赤枠部分の「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、二つ目に、真ん中の下のところ、オレンジ色の太い部分でございますが、「被害対象を減少させるための対策」、三つ目に、その右側の一番下、緑色の枠「被害の軽減・早期復旧・復興のための対策」、

この大きな三つを柱として、今後、プロジェクトの実現に向け関係団体が今後取り組むこととしております。具体的な内容につきましては、それぞれの項目のところに記載をしてございますので、御参照ください。

今後、関係者が協働して、それぞれのプロジェクトに取り組むことで、流域全体として、水害などの軽減につなげていくこととしております。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これを含め、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）今のこのプロジェクトの部分につきましては、今現在、行われている川内川の改修工事とは、プラスして行われると。今のものも含まれるわけですか。

○建設政策課長（内田俊彦）現在、実施をされています事業につきましても、このプロジェクトの中に入れて、ほかの計画も含めて進めようとしているものでございます。

○委員（大田黒　博）ここの所管なのか、建設維持課なのか、建設業関係で地域貢献活動がありますよね。地域貢献活動として、建設新聞等に活動状況が載りますよね。これは住民が、伐採を含めて、河川を含めて、していただきたいということを申し出た、そういうことは関係ありますか、ないですか。

○建設政策課長（内田俊彦）地域貢献につきましては、基本的に、工事を実施する箇所があります。そこ周辺も含めてですけれども、あと、ゴールド集落とかいろいろあるのですけれども、地域住民の方々が、その工事の現場の近くで、こういうことをしてほしいということで、された分については、地域貢献に当たるというふうに考えております。

○建設部長（久保信治）今、課長が申し上げたほかに、建設業協会とか電設業協会とかいう方々が集まっていただいて、地域貢献を年に１回とか２回したいということで、こちらのほうに、こういうようなことをやりたいということで、地域を御紹介くださいといったこともございます。

ですから、あらかじめ自分たちが選ばれたところとか、もしくは、こういった地域をしたいんだが、地域を御紹介してくださいといったようなものもございますので、今、大田黒委員の質問でありますと、例えば、そういう地域貢献のところに手を挙げたいということではないかなというふうに察しますけれども、そのような声について、こういう地域から上がっているよというのは、お伝えすることが可能ではないかなと思います。

○委員（大田黒　博）分かりました。各自治会を含めて、そういう困ったところというのは多々あると思うんですよね。だから、今、課長が言われた、工事をするところのその近く、あるいはそういうのに付随するものだけなのかな、それ以外のものでもいいかなと思っておりましたけど、今日の答弁等含めてよく分かりました。

ただ、県の道路がありますよね、県の道路によって、その地域の建設会社が管理道路という形で、年１回、２回、県からの予算を頂いてしていますよね。これ等は、要望を出して、年２回しているところが１回になったりすることがあるのかなと思いながら、その地域貢献活動と兼ね合いがよく分からなかったものですから、その管理をしていただいている、その建設業協会に、どの程度こうしっかり言ったらいいのか、その辺のすみ分けが少し分かればと思っての質問でしたので、その辺がもうちょっと何かあれば、教えていただけませんか。

○建設政策課長（内田俊彦）鹿児島県のほうが、路線ごとに、１年、ここからここの路線は入札をされて、そこを取った業者が作業をされます。

今言われたとおり、年２回もしくは１回という形ですけれども、それについては、あくまでも委託業務という形での作業になりますので、地域貢献とは若干外れた形になるのかなというふうに考えます。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、建設政策課を終わります。

―――――――――――――――

△建設整備課の審査

○委員長（森満　晃）次は、建設整備課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第７９号　薩摩川内市薩摩高城駅ポケットパーク施設条例の制定について

○委員長（森満　晃）まず、議案第７９号薩摩川内市薩摩高城駅ポケットパーク施設条例の制定についてを議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○建設整備課長（鍋倉省司）それでは、議案つづりその１、７９－１をお開きください。

令和２年１０月に、湯田町、薩摩高城駅に隣接する薩摩高城駅ポケットパークを普通公園として設置いたしましたが、令和４年４月１日から、利用料金制による指定管理者制度を導入し、維持管理を行うために、制度導入に必要な条例制定を図るものでございます。

また、議会資料の１ページには、制定内容及び公園の概要と平面図を記載し、２ページには、施設利用料の検討に関する記載を、利用料の案を記載しておりますので御参照ください。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）今回、利用料を取られるということで、また、指定管理料も指定管理をされてということで、指定管理料の利用料金の中の１平米単価ということになっているんですけど、１平米単価の中には、単なる面積なのか、施設全体の費用も、利用費用も入るのかということと、やっぱり指定管理料をどのように指定されて、どの程度任せられるのかということと契約年数は何年になるのか。

それと、今は、週末しか開いてないと思うんですけども、この中には、営業日数も書いてありますけど、そのとおり、今後、運営されると捉えてよろしいんですか。

○建設整備課長（鍋倉省司）まず最初に、利用料金の設定でございます。１平米当たり１，０００円の料金設定をしておりますけれども、これは、指定管理者以外の第三者が臨時的に商品を販売する際に、建屋内及び駐車場を利用して出店する際に、指定管理者が出店者から徴収する料金でございます。

今回の使用料の設定につきましては、あくまでも上限価格でございます。ですので、指定管理者と出店者が協議の上で、１平米当たりの上限料金を超えない、例えば、１平米３００円とか、５００円とか、８００円とか、価格設定内であれば自由に裁量はございますので、そういった形で徴収をすると。指定管理者が価格設定の判断を行いまして、出店の機会を増やして、指定管理者の収益性を向上させるということもありまして、この金額にしております。それと指定管理料ですけれども、今回、指定管理者導入の制定の条例は上程しましたけれども、これが、指定管理が委託料なのか、利用料金制なのかは、今後、またこの条例を可決していただいた後に、庁内の会議を経まして、委託料で施設を管理するのか、それとも指定管理者が収益を持てる、ある程度、物産販売の機能を有してますので、それの収益でもって運営をするのかは、今後決めて指定管理者の募集をしていきたいと考えております。

あと、契約年数でございますけれども、この条例を可決していただいた後、先ほど申し上げました、委託料なのか、利用料金制なのかを判断した上で、公募・非公募の検討の上で指定管理者を決定した上で、来年４月１日から指定管理者制度を導入したいと。今回、導入した際は、来年４月１日から、指定管理については、５年間の契約期間を基本としておりますので、来年４月１日以降５年間の指定管理ということで設置しているところです。

すみません。ほかの施設が４年間を設定しておりますので、今回は４年で、５年ではなくて、指定管理のほかの施設と同調するために、今回、特別４年間で設定することにしておりました。申し訳ありません。

○委員長（森満　晃）営業日の日数については。

○建設整備課長（鍋倉省司）営業日につきましては、今回、設定はしておりますけれども、指定管理者との協議の上で、開店日については今後決定していきたいと、あくまでも年末等の設定をするために、こういった開業日とかを設定しているところでございます。

○委員（成川幸太郎）利用料金について、その指定管理者が相談で決めるという、出店者に応じて変わっていくんだったら、非常に不信感を持たれるんじゃないかと思うんですね。

もし、指定管理者が決まって、１平米当たり単価を決めるんだったら、全ての人に対して、やっぱり同じような料金をして、一人の人は３００円、

一人の人は５００円ということであれば、その中で、出店者の中で不平不満が起こってくるんじゃないかなって気がしますし、また、営業日数についても、我々も通ったたびに、時々、通って寄るんだけど、なかなか開いてるところに遭遇しませんし、やはり営業するのであれば、物産施設として、当初の計画から相当、何かもう非常に縮小してしまって、寂しい感じがしますので、また、ああいう物産館ができて、活発にやっているということで、七つ星もまた留まるような形の活用になるように、ぜひ、していただきたいなというふうには思います。

○建設整備課長（鍋倉省司）利用料金の設定につきましては、申込者にそれぞればらばらの価格設定をするのではなくて、ある程度基準を持った形で価格設定はするように、指定管理者と協議はしてまいります。

また、おっしゃいました、開設状況ですけれども、今、一部管理を地元地区コミにお願いしておりますけれども、今、実証実験的な販売を行っておりますので、きちっとした形での指定管理者制度を導入した際は、そこについて指定管理者と協議の上で、なるだけ開店日、開いている形の、市で建物を整備をした意義につなげていきたいとは考えております。

○委員（成川幸太郎）指定管理者ですけども、それは、今、地区コミュニティということが、もう当初から話題になっていますけど、地区コミュニティ以外で一般事業者も、指定管理者の応募に入ることは可能なんですか。

○建設整備課長（鍋倉省司）先ほども申し上げましたけれども、今では、その非公募・公募を含めて検討しておりますので、施設を整備した意味合いがちょっと地域密着型というようなこともありますので、そこについても庁内会議で検討した上で、公募なのか非公募なのかを含めて、検討はしていきたいというふうに考えます。

ただ、この料金設定をしたということについては、指定管理者がその第三者の出店を可能にしているわけですので、そういった形での指定管理に参入するという形ではないですけれど、物販的な販売はできるというふうに考えております。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

これより討論、採決を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）討論はないと認めます。

これより採決を行います。本案を原案のとおり可決すべきものと認めることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

―――――――――――――――

△議案第８０号　薩摩川内市普通公園条例の一部を改正する条例の制定について

○委員長（森満　晃）次に、議案第８０号薩摩川内市普通公園条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○建設整備課長（鍋倉省司）それでは、議案つづりその１、８０－１、２をお開きください。

普通公園として設置しております、久見崎公園の建屋「はまぼう館」の中にあります会議室及び調理室ついて、施設の利用促進を図り、また、施設利用者の受益者負担及び公平性を図るために、会議室及び調理室の使用料について定めようとするものでございます。

施設の使用料の設定につきましては、滄浪地区コミュニティセンターほか、近接する地区コミュニティ協議会の建屋内にあります会議室及び調理室の料金と同額としております。

また、議会資料の３ページには、改正内容及び公園の概要、平面図を記載し、４ページには、料金の検討に関する記載と使用料の案を記載しておりますので御参照ください。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）非常に、最初に細かいことですけど、確認をしておきたい。大体、地元の人も、僕らも「久見崎（ぐみざき）公園」って呼んできたのだけど、資料の中に「久見崎（ぐみさき）公園」って書いてあるんですが、これは読

み方はどっちが正解ですか。

○建設整備課長（鍋倉省司）これは、普通公園条例の中では「久見崎（ぐみさき）公園」というふうに記載をしているということです。

○委員（成川幸太郎）今回、こういう条例が出てきたわけですけども、この、これまであまり地元でも使われる機会も少なかったと思うんですけども、会議室とか調理室とかが今後こういう有料制で使われるということになると、今後は自由に開けられるということになるんでしょうけれども、その窓口はどこがするんでしょう。指定管理みたいなことがまた行われるのか。

○建設整備課長（鍋倉省司）この久見崎公園につきましては、地元の滄浪地区コミュニティセンターに指定管理をお願いしておりますので、指定管理者、滄浪地区コミュニティ協議会はもとより、今後は利用促進を、先ほど図るということをお話ししましたけれども、ある程度の違った団体とも、利用していただくために料金設定をしたというふうに考えております。

○委員（成川幸太郎）当初できたときは、もう地元の人のためだけに活用される施設かなというふうに思ってたんだけども、こういった、普通公園条例の中に入って、一般の人でも使用できるということであれば、それはちょっとアピールをしてもらって、せっかくある施設がもったいないなというのは、最初から、委員長とも、何とか活用できないものかと昔、話ししたことがあるんですけど、そういう形で活用されるように、地区コミュニティが活用するんじゃないかと思っていたのが、一般の人も活用できるとなれば、活用の道は開けると思うので、ぜひ、そういうアピールを皆さんにしていただければと思いますので、よろしくお願いします。

○建設整備課長（鍋倉省司）委員おっしゃるとおり、料金設定もしますので、今回、上程しましたので、可決された以降、ＰＲを図って、施設の利用促進につながるような、何らかの行動はしていきたいというふうに考えます。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

これより討論、採決に入ります。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）討論はないと認めます。

これより採決を行います。本案を原案のとおり可決すべきものと認めることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

――――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）次に、審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○建設整備課長（鍋倉省司）それでは、歳出から説明いたしますので、予算に関する説明書、４４ページをお開きください。

８款２項３目道路新設改良費でございます。内訳は右側説明欄に記載のとおり、人事異動によります職員給与等の調整及び高城産業用地開発事業に伴います、開発予定地に接続する市道本町・矢立線の整備に必要な測量設計業務の委託料を増額しております。

次に、説明書の４７ページをお開きください。

８款５項５目公園緑地費でございます。内訳は、右側説明欄に記載のとおり、人事異動による職員給与等の調整、また、令和５年度に開催予定の特別国民体育大会のホッケー競技の会場となっております、丸山自然公園内のトイレ改修に必要な委託料の増額、また、公園施設長寿命化事業によります都市公園の遊具施設等を更新する整備費で、国からの交付金の内示減額に伴いまして、工事請負費を減額するものでございます。

歳入について御説明いたしますので、説明書の１３ページをお開きください。

１６款２項６目土木費補助金３節公園緑地事業費補助金の減額は、歳出で説明しましたとおり、国からの交付金の内示に伴い、減額するものでございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（石野田　浩）所管がちょっとはっきり分からないんだけど、聞かせていただきたいんですが、国道３号で薩摩病院がありますよね。御存じですよね。あそこの水路の改良事業か何か、計画はあるのですかね。どこの課が担当するか、ちょっと分からなかったから聞いたのだが。

○建設部長（久保信治）建設維持課が担当していますので、次で回答させます。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、建設整備課を終わります。

―――――――――――――――

△建設維持課の審査

○委員長（森満　晃）次は、建設維持課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８１号―議案第８２号

○委員長（森満　晃）それでは、議案第８１号及び議案第８２号の議案２件を一括議題といたします。

これらの議案２件については、本市が施工する道路メンテナンス事業について、工事請負契約を締結しようとするものでありますので、一括して説明を求め、質疑を行った後、討論、採決についても一括して行ってまいります。

当局に補足説明を求めます。

○建設維持課長（中島弘喜）それでは、まず、議案第８１号から御説明させていただきますので、議案つづりその１、８１－１をお願いいたします。

道路メンテナンス事業川内河口大橋耐震補強（Ｐ６）工事の請負契約の締結についてでございます。契約の目的、方法につきましては、記載のとおりでございます。契約金額でございますが、２億８，７２１万円です。契約の相手方は、植村・西日本工業特定建設工事共同企業体になります。

８１－２をお願いいたします。工事の場所は、港町地内とございますが、次のページに位置図を添付させていただいております。

工事箇所は川内川の河川内ということになります。工事概要につきましては、Ｐ６橋脚をＰＣコンファインド工法によりまして、耐震補強を行うこととしてございます。工事の内容の補足資料を議会資料で準備してございまして、議会資料の５ページをお願いいたします。

資料の上段の橋梁側面図に四角囲いをしてございますのが、今回、施工いたしますＰ６橋脚になります。資料の下段に、橋脚の正面図及び平面図をつけてございます。その中で網かけをしております部分が工事の施工部分になります。既設の橋脚の柱をプレキャストパネルで囲いまして、その中にコンクリートを充填し一体化することで、地震に対する強度を高める工事でございます。

以上が、議案第８１号の説明でございます。

引き続き、議案第８２号について御説明を申し上げます。議案つづりその１、８２－１をお願いいたします。

先ほど御説明いたしました議案第８１号と工事内容等につきましてはほぼ同様でございますので、相違点につきまして御説明をさせていただきたいと思います。

契約金額でございますけれども、２億８，７１０万円です。契約の相手方は外薗建設工業・外薗運輸機構特定建設工事共同企業体になります。工事箇所につきましては、先ほどのＰ６橋脚より川内川の右岸側に二つ目の橋脚ということでございまして、議会資料の６ページに位置図等をお示ししてございますので、御確認くださいますようにお願い申し上げます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。質疑は一括して行います。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

これより討論、採決を行います。

討論は一括して行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）討論はないと認めます。

これより採決に入ります。採決は、議案第８１号及び議案第８２号の議案２件を一括して行います。

採決します。これらの議案を原案のとおり可決すべきものと認めることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、これらの議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）次に、審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○建設維持課長（中島弘喜）それでは、歳出から御説明させていただきます。予算に関する説明書の４４ページをお願いいたします。

８款２項１目道路橋梁総務費でございます。内容につきましては、人事異動に伴います職員給与の調整でございます。

８款２項２目道路維持費でございます。新型コロナウイルス感染症に伴う道路維持補修等業務作業員の緊急雇用事業を当初９月まで予定してございました。しかしながら、現状等を踏まえまして、これを年度末まで延伸することに伴いまして報酬等を増額するものでございます。

次に、８款２項４目橋梁維持費でございます。これは、橋梁長寿命化計画に基づきます橋梁の耐震化補修工事に係ります国の交付金事業の内示に伴いまして減額するものでございます。

４５ページをお願いいたします。

８款３項１目河川総務費でございます。説明欄にございますが、河川施設管理費におきましては、７月豪雨等で河川内に堆積いたしました土砂の撤去の必要がございますので、これに係る工事請負費を増額し、また、急傾斜地崩壊対策事業におきましては、県の内示に伴いまして支出内訳を変更した上で減額するものでございます。

次に、８款３項２目河川改良費でございます。これは、県単砂防事業に係ります市の負担金を、県からの指定額に応じて増額するものでございます。

４９ページをお願いいたします。

９款１項６目災害対策費でございます。これも７月豪雨等に伴いまして災害応急対策費を増額させていただきたいものです。

次に、５８ページをお願いいたします。

１１款２項１目現年公共土木災害復旧費でございます。まず、説明欄にございますけれども、人事異動に伴いまして職員給与の調整及び７月豪雨等に伴います災害復旧工事に対応するための増額でございます。

１１款２項２目現年単独土木災害復旧費につきましては、同じく７月豪雨等に伴います小規模災害の復旧工事に対応するため増額するものでございます。

次に、歳入を御説明申し上げますので、１２ページをお願いいたします。

１６款１項４目１節公共土木災害復旧費負担金でございます。先ほど御説明申し上げました現年公共災害に関します国庫負担金の増額でございます。

次に、１３ページをお願いします。

１６款２項６目１節道路橋梁費補助金でございます。これも歳出で御説明申し上げました橋梁長寿命化等に伴います防災安全交付金事業の内示に伴います交付金の減額でございます。

次に、１４ページをお願いします。

１７款２項６目２節河川費補助金でございます。これは、急傾斜地崩壊対策事業の内示に伴います県補助金の減額でございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局に補足説明を求めます。

○建設維持課長（中島弘喜）産業建設委員会資料の２ページをお願いいたします。

令和３年７月１０日出水における向田排水機場

の状況等について御説明をさせていただきたいと思います。大きな１番に、これまでの経過を記載してございます。

（１）にございますように、７月１２日に向田排水機場におきまして、排水ポンプにトラブルが発生した旨を公表してございますが、それ以後におきまして国等への要望活動や地元説明会などを開催してございますので、それらの内容を記載をしているところですので、こちらについては御参照ください。

大きな２番でございます。仮称でございますけれども、川内地区・平佐西地区の浸水被害に関する検討会、これは、さきに開催いたしました地元の説明会等で、今後、有識者等を交えながら今回の水害に関しまして検証を進めていくということ、国のほうから説明がございましたけれども、その検討会を現在立ち上げる準備をしてございます。（１）に検討会の目的がございますが、検討会につきましては、国・県・市でそれぞれ今回の浸水に対する調査報告等を取りまとめた上で、課題改善策について検討を行うということとされております。

検討の内容が（２）にございますけれども、浸水状況や施設の操作に対する課題に対しまして改善策を検討する。それから、②には情報連絡体制、これは急激な大雨、河川の急激な水位上昇、そういったことに即時対応をするための緊急アラート等を含めた検討でございます。③には、その他ということで、目的を達成するため必要な事項を検討するということとされております。

メンバーでございます。（３）にございますが、参考のところに書いてございますように、河川、それからポンプ施設、そういったものに対する有識者、学識者、それから気象の専門家、それと地元の住民代表ということで組織するということで人選がされているところでございます。ちなみにですが、地元住民代表につきましては、地区コミの会長さんを予定しているところでございます。

（４）に今後のスケジュールを少し書いてございますが、現時点では９月１９日日曜日に第１回目のこの検討会を開催できるように国のほうで調整を今、されているところでございます。決定いたしましたら、速やかに市議会の皆様にもお知らせをさせていただきたいと考えております。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これを含めて所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）これはいろんなところからも、当局にも来ていると思うんですけども、市道のセンターライン、路側帯ラインが非常に消えて薄くなっているところが、特に交差点付近の部分は中心部がなくなったりしていると事故につながりやすいですけど、国道であれ県道であれあるのですけど、市道部分は市に言ったら、地元の自治会とかで聞くと、すぐしてもらったとかという方もあるし、現在、全てをぱっとやれないんでしょうけども、そこら辺の課題というのは今どういうふうに捉えていらっしゃるか、また今後、要望も相当来ていると思うし、そこらもどのような状況かをちょっとお聞かせいただけないか。

○建設維持課長（中島弘喜）ただいま御指摘いただきましたように、市道も結構管理する本数とか多いんですけれども、特に地域の主要の幹線になっているような道路にはセンターラインを引かしていただいているんですけれども、御指摘いただいたとおりです。場所によってはセンターラインが消えてしまって、判別できないような状況の場所もございます。そういった要望もたくさん頂いているというのも事実でございます。

今現在、私どもとしましては、そういう要望箇所、危険な箇所、要望のみならず、自らも道路の点検等をしながら、まずは、危険性の高いというところを優先的に鋭意工事はさせていただいておりますが、なかなか全てに行き届いていないというのが現状でございます。

○委員（成川幸太郎）道路維持で相当予算も組んであったと思いますけど、このセンターライン関係とか、ライン関係でどの程度の予算配分をされているんですか。

○建設維持課長（中島弘喜）センターラインの工事は、予算のすみ分けとしましては、交通安全対策事業ということで予算を組ませていただいております。

また、センターラインのほか、ガードレールですとかカーブミラー、見通しの悪いところに設置する、そういったものを含めまして、今年度の予算としましては３，０００万円を計上させていただいております。

○委員（成川幸太郎）今、ＳＤＧｓもあって、いろんな、プラスチック問題とか、いろいろ言われているんですが、ちょっといろいろ市民の方から提案があって、今、災害があったりして、土のう袋を使って積み上げるんです。土のう袋がビニールです。

それが崩れていって実際にマイクロプラスチックになることもあり得るだろうということを想定すれば、できたら、この土のう袋を今のビニールの袋じゃなくて、昔みたいに唐米袋みたいなものを使って、自然に返る物を使ったらどうなんだろうかという提案があったんですけど、そういった対策、お考えはないですか。

○建設維持課長（中島弘喜）確かにプラスチック系は環境に悪いというのは認識してございます。土のう袋をそういうこと、特に土のうは土を入れまして、土の代わりにそこに積み上げたりというような状況でございますので、将来においてその袋が残るというのは想定されるところではございますが、今御指摘いただきましたように、そういう自然に優しい製品がどの程度あり、その単価がまたどのぐらいの価格なのかということを、我々も今後の研究課題ということで取り上げさせていただきたいと思います。

○委員（成川幸太郎）ぜひ検討を頂いて、ＳＤＧｓについては市長も一生懸命取り上げられていらっしゃるところですので、そういった対策の一つとしてしていただければと思います。検討のほうをよろしくお願いいたします。

○委員（石野田　浩）国道３号、薩摩病院のところ、あの辺の水路の何か改良計画というか、そういう計画があるんですか。

○建設維持課長（中島弘喜）その水路の改修計画についてですけれども、担当グループ長に答弁させてよろしいでしょうか。

○主幹兼建設維持グループ長（樋口武士）委員御指摘の水路についてですけども、薩摩病院近辺が、国道３号も含めて冠水があるということで、令和元年度に、あの辺りの流域検討業務として、何が原因で冠水が起こるのかということで検討業務を行っております。

その後、あそこに桜木踏切というところがございまして、踏切のところにあります市道の横断暗渠の断面が少し不足しているというところで、その横断暗渠の改修をまず市としてやろうという方向性を決めまして、令和２年度に、おれんじ鉄道と協議を行っている状況でございます。

その水路の中に、おれんじ鉄道さんが所有されています電気のケーブル、線路と並行して水路がございますけども、そこに電気ケーブルがあるということが判明しまして、その工事に伴って、その電気ケーブルに工事自体が影響がないか、また、おれんじ鉄道さんがその電気ケーブルの深さ自体を現在調査をされているというふうに聞いております。おれんじ鉄道さんから、そのケーブルについて支障がないとか、そういうことの回答が得られましたら、市としてもそこの暗渠の改修工事に取りかかってまいりたいと考えているところでございます。

○委員（石野田　浩）その踏切というのは、どこの踏切か。よく分からないけど。

○主幹兼建設維持グループ長（樋口武士）丸武産業の工場というか、３号線のところのカーブがございます。昔、甲冑があったところ、そこの裏に、おれんじ鉄道のところに桜木踏切という踏切がございます。

まずは、そこの踏切のところの市道の暗渠が、少し径が小さいことで、少しボトルネックな状態になっていますので、そこの暗渠の改修を計画しているところでございます。

○委員（石野田　浩）その辺のところは前から要望が上がっていて、おれんじ鉄道ともずっと話をしているはずなの、国とも。対話集会でも出てきた問題だから、日向迫川から出てくる水があふれて、そして国道を通って薩摩病院の前まで来るということで、あの用水路を広くしてもらって、そして少しはけがよくなったんだけれども、出てくる水の量は変わらないわけだから。

すぐあそこの川から出てくる国道を横断する、あれは何て言うの、カルバートじゃなくて、トンネルみたいに用水路が通るところがある。あれが低くてどうしようもないわけ。浅いんです。それこそ１メートルちょっとぐらいしかないんじゃないかな。だから、それがすぐごみがたまったりしてあふれてくるんです。その量をはかしきれないわけ。だから、下の踏切の暗渠がどうこうの問題よりも、もっとその元をたださないと、あまり意味がないと思う。

結局、下の暗渠を広げたのはいいんだけど、時間差でだんだん水がはけてはいくんだろうけれども、一番最初にあふれる場所を国道と、おれんじ鉄道、しかもおれんじ鉄道はこれぐらいの水路なんだけど、真ん中に支柱まで立っている。だから、そういうところを水が流れていくわけないんだ。ごみがすぐたまるんだから。

そして、おれんじ鉄道は、さっき言われた電気のラインなんかのことも最初から言っているわけ。だから今頃調べているというのはおかしいわけよ。以前、あそこに側溝をつけてくれという話があって、あそこの自治会長から出てきた話で、何年もやって、どこに行っても返事がもらえなくて、みんなが一緒になって検討をしないと、国と県と市と、おれんじ鉄道、この四者が集まらないと話にならないんだ。

そういうことをずっと最初から言っているんだけど、今度の踏切の暗渠を大きくしてもらうことも一つの方法なんだろうけど、もっと抜本的なことをしてもらわないとどうしようもない。それで、この間、建設維持課の方は知っていると思うんだけど、あの下のほうの、県道の下を通っている用水路に土砂が堆積していたから、それを取ってくださいという話をしたら、上にそういう計画がいろいろあるので、それが片がつかないとできないというような言い方だったわけ。

それとこれとは全然また別のような気がするのだけど、どこら辺まで計画を立てて、どういう方法でやるのかなと思ったので聞いたのだけど、その辺についてはどうですか。

○建設維持課長（中島弘喜）まず、今現在取りかかっている部分というのが、明らかにボトルネックになっているというところでもございますので、そこは、おれんじ鉄道との協議を鋭意進めながら、なるべく早く解消に向けて努力をしたいと思います。それから、全体的な計画につきましても、流域調査等もやっておりますので、それを基に、今取りかかろうとしておりますボトルネック以外に課題がないかということも含めて検証を改めてしたいと考えます。

それから、そのさらに流末側の土砂の撤去等につきましてですけれども、そこは改めて私ども、今の段階の状況を把握してございませんので、状況も確認をさせていただき、早急な対応が必要な状況であれば対応をさせていただきたいと考えます。

○委員（石野田　浩）今度のその計画は、国道を含めたそういう事業をしようと調査をしているのかと思って、私は喜んでいたのだけど、やらないよりはやったほうがましだというぐらいの工事です。正直言って、あの地域からすると。

あそこから引いていく水を田んぼに使うとかということもまずないし、家庭用の雑排水が入るのは１か所ぐらいで、１軒しかない。あとは全部空き家。

そういうことじゃなくて、その下のほうまでやるのだったら、薩摩病院のほうから入ってくる用水路、あれと交錯するわけだから、あちらに大きいのがあるんだから、特別あそこを広げたり大きくしたりするというのは、計画からすると微々の微だと思う。

だから、それをなおざりにしてはいけないということではないんだけれども、もっと抜本的に考えて、計画だとかそういう事業を進めてもらいたいなと思うんです。その辺、部長どうですか。

○建設部長（久保信治）今、課長のほうが答弁していましたとおり、国・県・市で１回この取りまとめを検討しておりますので、再度、今おっしゃられたことも含めまして、現地確認を調査をして善処できるようにちょっとまた国・県と協議をしてまいりたいというふうに考えております。

○委員（石野田　浩）ぜひそれを実現できるように頑張ってやってください。県議会議員、国会議員、頼んでも、なかなか同じテーブルに着かない、着けないというのかもしれないけれども、国も認めているわけです。冠水地域ですと看板まで張ってあるんだから、なぜ冠水するということは既に分かっているはず。それでいて改良していかない。その辺をもっと強烈な要望をして進めてください。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、建設維持課を終わります。

ここで、休憩します。再開は、おおむね１時とします。

～～～～～～～～～

午前１１時５６分休憩

～～～～～～～～～～

午後　０時５７分開議

～～～～～～～～～～

○委員長（森満　晃）休憩前に引き続き、会議を開きます。

―――――――――――――――

△都市計画課の審査

○委員長（森満　晃）次は、都市計画課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○都市計画課長（香月貴廣）歳出について説明申し上げますので、予算に関する説明書の４６ページをお開きください。

８款５項１目都市計画総務費、事項都市計画総務費の説明欄を御覧ください。主な内容につきましては、上の方から給与等につきましては人事異動に伴う増額補正でございます。委託料につきましては、今後、都市計画マスタープランの見直しや都市計画道路の整備方針、用途地域見直し等に係る検討事項が複数ございまして、都市計画行政を進める上で必要なこれらの計画の基礎データとなる交通量調査を前倒しで実施するため、今回、増額補正をお願いするものでございます。

歳入についてはございません。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、都市計画課を終わります。

―――――――――――――――

△区画整理課の審査

○委員長（森満　晃）次は、区画整理課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○区画整理課長（城之下　誠）歳出について御説明申し上げますので、予算に関する説明書の４６ページをお開きください。

８款５項３目土地区画整理費であります。説明欄を御覧ください。天辰第一地区、第二地区土地区画整理事業特別会計予算の補正に伴い、一般会計からの繰出金を天辰第一地区は減額し、天辰第二地区は増額するものであります。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△議案第８４号　令和３年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算

○委員長（森満　晃）議案第８４号令和３年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○区画整理課長（城之下　誠）歳出から御説明申し上げますので、予算書・予算に関する説明書の７６ページをお開きください。

１款１項１目土地区画整理事業費に増額補正をお願いしております。説明欄を御覧ください。給与、職員手当等、共済費の増額については、４月１日付の職員の人事異動に伴う調整するものです。

次に、歳入について御説明いたしますので、７４ページをお開きください。

５款１項１目一般会計繰入金、前年度からの

繰越金に伴う財源調整により、減額するものであります。

次に、７５ページをお開きください。

６款１項１目繰越金については、前年度繰越金であります。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

これより討論、採決を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）討論はないと認めます。

これより採決を行います。本案を原案のとおり可決すべきものと認めることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

―――――――――――――――

△議案第８５号　令和３年度薩摩川内市天辰第二地区土地区画整理事業特別会計補正予算

○委員長（森満　晃）次に、議案第８５号令和３年度薩摩川内市天辰第二地区土地区画整理事業特別会計補正予算を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○区画整理課長（城之下　誠）まず、歳出から御説明申し上げますので、予算書・予算に関する説明書の９２ページをお開きください。

１款１項１目土地区画整理事業費において、減額補正をお願いしております。説明欄を御覧ください。内容としましては、人事異動に伴う調整、埋蔵文化財の調査に必要な経費の追加、国庫補助事業等の確定に伴い、全体事業費を減額するとともに予算組み替えを行い、事業進捗を図ろうとするものであります。

次に、歳入について御説明いたしますので、８７ページをお開きください。

３款１項１目国庫補助金と、次の８８ページの４款１項１目県補助金につきましては、社会資本整備総合交付金の内示額確定に伴い、減額するものであります。

次に、８９ページをお開きください。

５款１項１目一般会計繰入金つきましては、川内川河川事務所が実施するまちづくり一体型引堤事業の進捗に併せ、早期に埋蔵文化財調査を実施する必要が生じたことから、その経費として必要な額を増額するものであります。

次に、９０ページをお開きください。

６款１項１目繰越金につきましては、前年度繰越金であります。

次に、９１ページをお開きください。

８款１項１目土地区画整理事業債につきましては、内示額の確定に伴い、合併特例事業債を減額するものであります。

次に、８４ページをお開きください。

第２表、地方債補正については、起債対象額の変更に伴い、限度額の変更をするものであります。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

これより討論、採決を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）討論はないと認めます。

これより採決を行います。本案を原案のとおり可決すべきものと認めることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について、質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、区画整理課を終わります。

―――――――――――――――

△入来区画整理推進室の審査

○委員長（森満　晃）次は、入来区画整理推進室の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○入来区画整理推進室長（上川原雅之）まず、歳出について説明いたしますので、予算に関する説明書の４６ページをお開きください。

８款５項３目土地区画整理費におきまして、入来区画整理推進室分は、右側の説明欄に記載のとおり繰出金の減額であります。

これにつきましては、特別会計において純繰越金の追加及び職員の異動等により、財源を調整したことによるものであります。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（大田黒　博）せっかくですので、前で進捗状況をちょっと説明願えませんか。

［図面を示す］

○入来区画整理推進室長（上川原雅之）まず、令和２年度までの事業費ベースでいきますと、進捗状況は９６％という状況でございます。

しかしながら、通常的な仕上がりでいきますと、造成工事が約７割程度、都市計画課道路がこの大きな道路、この黒いところ、ここの３路線ございますけれども、大体今、地区の北のほうが工事がまだ残っておりまして、都市計画道路のほうが約７６％という状況でございます。

ただ、今の旧水路河川敷ですか、旧河川敷の暗渠化を進めておりまして、こちらが結構高低差が大きいものですから、ここの工事に苦慮しているところでございますが、繰越金等を使いまして今、一生懸命整備しているところでございます。おおまかに説明しますと、前回もお話しましたけどこの黒いとこころ、グレーのところが大体終わったようなところでございまして、湯之山館がここにございますけれども、この北部、北のほうが大体整備が残っておるという状況でございます。

南のほうにもところどころ造成が残っているところがございます。およそ以上のようなことでございます。

○委員（大田黒　博）皆さん方が確認をされるのが、入来温泉場の信号がありますよね。入来温泉の。スタンドがあったりする、あそこから湯之山館まで行くのにぐるっと回らないといけないじゃないですか。通行止めでしょう。

○入来区画整理推進室長（上川原雅之）ここの道路を今は通ってもらうようにしております。今はここを工事中なものですから。

○委員（大田黒　博）通れるのですか。

○入来区画整理推進室長（上川原雅之）はい。ここを通っていただくようにしております。

○委員（大田黒　博）狭いのではないですか、そこは。

○入来区画整理推進室長（上川原雅之）ここは６メートル道路で整備してございます。今、その懸念の声がありますのは、もしかしたら案内板とかそこら辺りが不足している可能性はございますね。

○委員（大田黒　博）皆さん、回られるんですよね。確認しておきますがと言ったのですけど、案内板で６メートル道路を通れるようにちゃんとできれば、皆さん少し分かりやすいのかな。

○入来区画整理推進室長（上川原雅之）もうちょっとこちらの整備が時間がかかりますので、その案内板を整備するようにしたいと思います。

○委員（大田黒　博）あと、何年、ここができるのは。

○入来区画整理推進室長（上川原雅之）今回お尋ねがありましたここの交差点のところが、直前まで出来上がっていまして、ちょっと侵入ができないものですから、ここの交差点を仕上げるのが今年度末でして、こちら側からの侵入がしやすくなるということで考えています。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△議案第８６号　令和３年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計補

正予算

○委員長（森満　晃）次に、議案第８６号令和３年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計補正予算を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○入来区画整理推進室長（上川原雅之）それでは、まず歳出について説明いたしますので、予算に関する説明書の１０５ページをお開きください。

１款１項１目土地区画整理事業費におきまして増額するものであります。内訳についてですが、説明欄を御覧ください。職員の異動等により職員手当等を増額するとともに、工事請負費については事業推進のため、委託料及び補償金からの組み替えにより増額するものであります。

次に、歳入について説明いたしますので、１０３ページをお開きください。

４款１項１目一般会計繰入金の減額は、繰越金の計上及び４月の職員の異動により財源を調整するものであります。

次に、１０４ページを御覧ください。

５款１項１目繰越金は、前年度決算剰余金の確定に伴い、純繰越金を計上するものであります。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

これより討論、採決を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）討論はないと認めます。

これより採決を行います。本案を原案のとおり可決すべきものと認めることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について、質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、入来区画整理推進室を終わります。

―――――――――――――――

△建築住宅課の審査

○委員長（森満　晃）次は、建築住宅課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○建築住宅課長（南　忠幸）予算に関する説明書の４８ページをお開きください。

８款６項１目住宅管理費の事項住宅管理費におきまして、４月の職員人事異動に伴う職員給与費の減額を行うとともに、事項公営住宅ストック総合改善事業費におきまして、国庫補助金の内示額の決定に伴い、市営住宅の共用部分改善工事費の減額を行うものでございます。

続きまして、歳入予算について説明いたしますので、予算に関する説明書の１３ページをお開きください。

１６款２項６目土木費補助金４節住宅費補助金におきまして、国庫補助金の内示額の決定に伴いストック総合改善事業補助金の減額を行うものでございます。なお、国庫補助金の減額分につきましては、一般財源で調整を行うものでございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局から報告事項はありませんので、これより所管事務全般について、質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（塩田耕大郎）市営住宅の件で、前もいわゆる解体補修とかいろいろあろうかと思いますが、市全体で何棟ぐらいが解体で、何棟ぐらいが修繕で、新築がどのくらい予定されているのか。

それと、私、甑島のことばかり言いますけど、里町に私の親戚が今回入居させていただくに当たって、指定管理になっておるわけですが、鍵を渡すからと私自身も行ってみましたら、とにかくすごい状況の中で、これで入れっていうのも大変な状況だなと思いながら、指定管理者にも連絡し、市にも連絡し、そうしたらそこがどの程度指定管理者側に権限というか、契約上どうなっているのか。また、補修にするに当たって一々支所から本庁に伺いを立てないといけないこと等、時間かかった。今回は早かったかな。振興局ができればそういうことが改善されるのか。すぐできるのか、そこらも含めて教えていただけたらありがたいなと思います。

○建築住宅課長（南　忠幸）まず、本年度の公営住宅ストック事業についてですけれども、今年度の工事につきましては、後牟田住宅１棟、上川内住宅１棟、松崎住宅の１棟につきまして、共用部分の改善工事を実施することとしております。それと、解体のほうにつきましては今年度は樋脇の諏訪原住宅１棟１戸、それと舟倉住宅の２棟６戸を解体する予定としております。

甑島地域の指定管理につきましては、本年度から開始しておりまして、受託者、管理事務所においてもまだ不慣れな点もあったりしまして、また人の連携不足等もあったりしまして、市民や入居予定者の皆様には御迷惑をおかけしている部分もあろうかと思っております。本土地域の管理事務所と比べますとフットワークが若干悪いような話も聞いておりますので、今後におきましても市との円滑な連携を図るとともに、また迅速かつ的確な対応ができるように指定管理者のほうを指導してまいりたいと考えております。

○委員（塩田耕大郎）指定管理者が、甑島は初めての業者ということで不慣れな点もあるんでしょうけど、結局、甑島全体の市営住宅がどのような状況下にあるのか、一応把握させて、そこに入居者がいるときはきれいな形では入れるような状況を常につくっておくというようなことを指導してほしいなという要望です。

○建築住宅課長（南　忠幸）支所の職員との連携も図りまして、今回上甑のほうに１０月から入られるということで予定しておりますけれども、あらかじめ支所の職員とも連絡をとりまして、部屋を確認してもらって、修繕すべきところを確認したりしてやっていこうと考えているところでございます。

○委員（塩田耕大郎）修繕等についての権限というのは、今後振興局で、権限の中でできる金額もありましたけど、本庁に一々伺いを立てなくても振興局でできるということで思っていていいですか。

○建築住宅課長（南　忠幸）修繕につきましては、１件の修繕費が６０万円未満につきましては、指定管理者において行うことができるというふうにしておりますので、小さい修繕は指定管理者のほうで実施できます。

○委員（成川幸太郎）お聞きになっていらっしゃると思うんですけど、斧渕市営住宅と若あゆこども園の境界柵の件なんですが、これは聞いて、話を聞いてびっくりしたんですけど、これだけ引っ付いたところに、子どもの安全上のものと考えれば、最初の設計段階でここら辺が全然分からなかったのかなと思ってびっくりしているんですけども、今後どのように考えて対策をとっていかれるのか。

○建築住宅課長（南　忠幸）柵の件でよろしいですか。

○委員（成川幸太郎）柵と、非常の際の安全対策と、もし悪質な人がいた場合には簡単に飛び越えらえる柵ですよ。それと、１か所非常口になっているところがふさがった閉まっているという、そこら辺の対策というのは。

○建築住宅課長（南　忠幸）斧渕市営住宅につきましては、御存じのとおり住宅、建物、駐車場など事業者において建設してもらいまして、事業者の所有となっておりまして、それを市が借り上げて市営住宅として運用しているものでございます。

市営住宅側の柵につきましても、事業者において設置、所有しているものでございまして、現在の柵を取り外して目隠し用の柵に取り替えるということは、できたばかりの柵でもありますし、若干難しいのではないかと考えております。どうし

ても目隠しが必要ということであれば、こども園のほうでカーテン等を設置するなどして対応をしていただけないかと思っております。

また、緊急避難用の出口につきましては、工事中に相談していただければ何らかの対応もできたかと思ってはおりますけれども、先ほども申しましたとおり、事業者におきまして設置しているものでありまして、事業者との協議も必要でありますので、今後検討させていただきたいと思っております。

○委員（成川幸太郎）できてからここまでこのようになっているということを分かる前に、設計段階とかでチェックというのは市のほうではできなかったんですか。

○建設部長（久保信治）今回の市営住宅については、借り上げ型住宅という、ここはちょっと念頭に入れてください。通常、私どもが設計して住宅を所有する場合においては、市のほうが監理監督して建物を建てて、そして検査をして引き取るということになりますけども、今回の場合は民間の方が建てていただいて、そして私どもに引き渡すと、そして借りていくというようなものでございまして、もともと地上から上は民間の所有ということになります。

今お尋ねの、まず非常口なんですけども、今までは園があるときには隣が市有地だったものですから、そちらに対して出入り口という形で、駐車場に止めたとかいろんなことを使っていらっしゃったんだというふうに思慮しています。その後、園のほうの隣に市営住宅、借り上げ型住宅を造るときに協議を、民間の企業のほうがしとけばよかったんですけども、していませんでしたので、これらについては今後も相互で協議をさせて、開ける処理等をさせたいというふうに考えています。

もう一点の目隠フェンス、もう丸見えになると、駐車場から丸見えになるということでございますけども、基本的には民間と民間との間の土地でございます。道路から歩道を歩きながらのぞけるとか、そういった場合と若干ちょっと違うような感じでもございます。他方、園児の安全安心といった面で考えますと、その園の方と市営住宅が借り入れるわけですから、双方協議をしてどういった対応がとれるか。基本的には園のほうで目隠しのフェンスもしくはカーテン等をしていただくということが第一義的には必要かもしれませんけども、十分協議をさせたいというふうに考えておりますので、またこの件については御配慮いただければと思っております。

○委員（成川幸太郎）この駐車場は、民有地なんですか、市有地なんですか。

○建築住宅課長（南　忠幸）土地は市有地になります。ちょっと言い方は悪いかもしれませんけど、地面から上のアスファルトから上の部分は事業者のものになっております。それを市が借り上げているという形になっております。

○委員（成川幸太郎）土地自体は市のものなんですね。だったら、市の土地を貸すときにやっぱりそれなりの間隔をおいて、駐車場をこっち側にしてくださいということも指導できたんじゃないかなと思う。できてから、これだけ引っ付いているところというのは、やっぱりみんな不安に思いますよね。だから、これが民有地だったらどうこう言えないんですけど、市有地に駐車場を造る前にそこを指導できなかったのかなというのを非常に残念に思います。いかがでしょうか。

○建設部長（久保信治）園の隣に建物を建てる場合においては、近接して建てるということで法律上、近接するという形になりますけども、今回は市営住宅の駐車場という形になっておりますので、ぎりぎり駐車場が建って日陰になるとか、そういったことはございませんので、あとは車を止められた方が園のほうをのぞくんじゃないかという、そういった思慮なので、それについては双方話をして、何らかの対処方法を今後検討してまいりますので、建物を建てて暗くなったとかそういったことではないので、ここの辺はまた誤解のないようにお願いしたいと思います。

○委員（成川幸太郎）今もうできてしまっていることですけども、今後できる限りの対策をとっていただきたい。やはり、園の管理者もそうですし、園に子どもを預ける保護者としても安心して預けられるような体制がとれるように、対策をよろしくお願いいたします。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、建築住宅課を終わります。

―――――――――――――――

△経済政策課の審査

○委員長（森満　晃）次は、経済政策課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○経済政策課長（田中道治）それでは、補正予算につきまして御説明を申し上げます。

歳出の補正になります。予算書の２４ページをお開きください。

２款１項８目国際交流費の国際交流施設等管理費につきましては、修繕料といたしまして国際交流センター及び産業振興センターの雨漏り修繕２５６万５，０００円、それから工事請負費といたしまして、国際交流センター及び産業振興センターの新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかります、洗面器自動水洗化工事８０万円を増額するものでございます。

洗面器の自動水洗化のイメージですけれども、通常は水道の蛇口をひねると水が出てきますけれども、センサー方式によって手を差し出すと水が出て、手を遠ざけると水が止まる。そのような自動水洗化でございます。

次に、予算書の４１ページをお開きください。

７款１項１目商工総務費でございます。令和３年４月１日付の人事異動で人件費補正でございまして、職員数の減による給料・職員手当等・共済費につきまして５，８１２万６，０００円を減額するものでございます。

次に、７款１項２目商工振興費のうち一つ目の丸印、甑島航路利用促進事業費については、甑大橋開通甑島航路利用促進事業補助金１００万円を増額するものです。

次に、２つ目の丸印、地域経済事業費については当初予算に計上しております新型コロナウイルス感染症関連地域の商いパワーアップ事業補助金７，０００万円を増額するものです。

次に、３つ目の丸印、中小企業振興費は県の新型コロナ感染拡大警報等に伴う影響によりまして、事業収入が大きく減少しております事業者に対する支援金等につきまして、５，６０８万４，０００円を増額するものです。

これらの３つの事業の具体的な内容につきましては、産業建設委員会資料の１ページをお開きください。

１．甑大橋開通甑島航路利用促進事業補助金は、アフターコロナを視野に入れまして甑島航路利用促進と甑島観光の活性化を図るため、昨年に引き続きましてフェリーの車両及び同乗者の旅客運賃軽減や旅行プラン広告等に助成を行うものでございます。助成対象者は甑島商船株式会社でございまして、事業実施期間は１０月から１２月を予定しております。

次に、２の新型コロナウイルス感染症関連地域の商いパワーアップ事業補助金は、新型コロナウイルス感染症の影響で、中小・小規模事業所を取り巻く地域経済環境が依然として厳しいことから、商工団体が実施する消費喚起に資する取組について補助するものでございます。

補助対象者は、川内商工会議所と薩摩川内市商工会。補助額は、川内商工会議所に４，５００万円、薩摩川内市商工会に２，５００万円。事業実施期間は１０月から令和４年２月まで。なお、具体的な事業計画等につきましては、補正予算承認後に各商工団体から補助金申請として示されることとなっております。

次に、産業建設委員会資料の２ページをお開きください。

３．新型コロナウイルス感染症関連経営持続化支援金につきましては、県が５月から６月にかけまして発出しました感染拡大警報等に伴い、事業収入が大きく減少している事業者の経営持続を支援するため、国の月次支援金または県の事業継続一時支援金の支給を受けた事業者に対して支援金を交付するものでございます。

支援金は、４月から６月の国の月次支援金と県の事業継続一時支援金の給付合計額といたしまして、交付上限額を１事業者につき５万円としております。また、令和２年７月豪雨、それから本年７月の大雨被害を受け、罹災証明発行を受けられた事業者には３万円を加算して支援することといたしております。申請期間は１０月から１２月でございます。

次に、予算書の４２ページをお開きください。

７款１項３目観光費のうち説明欄の下段の丸印、観光物産施設事業費につきましては、道の駅樋脇を含め５つの施設に、新型コロナウイルス感染症拡大防止といたしまして、洗面器自動水洗化を行うための備品購入費１３０万円を増額するものでございます。

次に、予算書の５６ページをお開きください。

１０款６項２目体育施設費の説明欄の一つ目の丸印になります。総合運動公園管理費は陸上競技場等に、新型コロナウイルス感染症拡大防止といたしまして、洗面器自動水洗化を行うための備品購入費３８４万円を増額するものです。

次に、２つ目の丸印、スポーツ施設管理費については、樋脇総合運動場体育館雨漏り修繕１０５万円、それから樋脇体育館を含む２１施設に、新型コロナウイルス感染症拡大防止といたしまして、洗面器自動水洗化を行うための備品購入費３９０万円を増額するものです。

○委員長（森満　晃）ただいま、当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）新型コロナ関連地域の商いパワーアップ事業補助金ですけども、また４，５００万円、２，５００万円が補助されるということですけども、昨年の暮れ、今年の夏と、特に川内商工会議所においてはスクラッチカードによる、めくって商品券が当たるというものだったんですけども、これが確かに商工会議所の従来の事業に付加されているような気がして、結局市が補助して活性化事業になんか取り組んだということが、どうも見えてこない。

特に、今年の夏などは補助額が幾らあったのか分からないけれど、昨年の年末からすると非常に当たりくじが少ないんじゃないかというような市民の声もありましたけど、せっかく４，５００万円補助されるのであれば、それがやっぱり市民に市の補助が出たんだよということが分かるような形で、ある程度指導はできないものか。具体的に、予算が通ってから提示して、向こうの案を受けるという、これがまた安易に去年の冬、今年の夏、同じスクラッチカードとなったら、市民としては何の変化が、市が何かしたってことは全く見えないと思うのですけど、どのようにお考えですか。

○経済政策課長（田中道治）御指摘がございましたスクラッチカードにつきましては、これまでも商工会議所のほうで取り組まれている事業でございます。これに、新型コロナウイルスの経済対策として費用を加算して、事業を膨らませている内容で出てくる部分もあると思いますので、そこら辺につきましては会議所との協議も行いまして、市民の民さんに御理解いただけるような形で、ＰＲもさせていただきたいと思います。

○委員（成川幸太郎）ぜひ、消費を喚起するためにやるわけですから、市民にとっては従来どおり夏の売り出し、冬の売り出しがあって、何のことはないということはない。どれほど消費喚起をあおったのか、確認できるような施策、事業になるように指導もしていただきたいなというふうに思います。

○委員（石野田　浩）関連してですけど、この資料の中に実施期間が、令和３年７月１６日から８月２２日終了って書いてあるんだけど、今のちょっと話を聞いていたところでは、８月に終わったんだったら意味ないなと思うんだけど、その辺はどうですか。しっかりとした期間とか、成果とか。

○経済政策課長（田中道治）委員会資料でお示ししておりますのは、中元期の取組でございまして、今回補正で要求させていただいていますのは、歳末に向けた予算でございます。

商工会のほうは、昨年の予算を、つんちゃん宿泊券というのがあったんですけれども、繰り越されて事業をされている関係で、中元期の経済対策のほうがちょっとずれ込みまして、１０月の実施になっております。

○委員（石野田　浩）分かりました。それなら年末はまた別に会議所もやるということですね。

○委員（成川幸太郎）新型コロナウイルス感染症関連経営持続化支援事業ですけど、１事業者に５万円ずつ支給されるのは分かるんですけれども、その災害で特例加算のところが災害見舞金みたいな形で３万円付加ということは、新型コロナウイルスに対する持続化支援としての意味合いがちょっと違うんじゃないかと思うんですけども、国庫補助で、国庫支出金で全部もらってコロナ対策ということで、この特例加算は災害見舞金じゃないですか。何でここに入るのかなと思って。

○経済政策課長（田中道治）御指摘の災害で

罹災証明を受けた事業者への加算の３万円なんですけれども、中身的には災害の見舞金と捉えられても仕方がないという部分はございますが、やはり新型コロナウイルスで非常に影響を受けていらっしゃって、その上に災害も受けられた方もおられるということで、経済対策の一環として取組させていただきたいと思います。

○委員（成川幸太郎）そういうことが、国の経済対策持続化支援事業ということで通るのかどうかということと、私は、向田の今度の豪雨の災害については、結果を見れば基本的にはポンプが故障したことによる影響が大きいと思うんです。それがまだ確認がとれないときに、こういう形で見舞金的に、罹災証明を取った方だけでしょう。継続支援事業を受けたこれまでの人たちに全員付加されるんだったらいいけど、災害を受けた人だけというのはちょっと意味合いが違ってくるんじゃないか。そうではなくて、商店街で災害を受けた人たちはやはり災害補償的なものを求めていらっしゃるところが多いと思うから、今ここで3万円付加して、それが済んでしまうようなことになるというのを、逆に心配されるんじゃないかな。

この前の一般質問でもあったように補償をどうするのか、説明会のときに国のほうが検討しますといったのが、恐らく皆さんは出すことによる検討だというふうに捉えていらっしゃる。この前の市の答弁では、それも含めて出すか出さないかもまだ検討なんだと言われたけど、恐らく大方の方は、災害補償されるものと思っていらっしゃる部分がある。

その前に、こういった付加をある一部の人だけ出すというのは、温情なのかもしれないけど、誤解される懸念があるんじゃないかなと思うんですけど、そこら辺は考えられないですか。

○経済政策課長（田中道治）御指摘がございました国のポンプ施設の故障といいますか、不具合な関係で被災が出たというような国の説明等が、今検証中であることは我々も認識はしております。

ただ、住宅への災害見舞金は含まれるのですけれども、その災害補償の部分と見舞金というのは区別されるべきではないのかなというふうに考えております。見舞金的な部分については個人の住宅の方は、災害見舞金で支払われるのですけれども、私ども事業者に向けては単価的な部分は、金額は合わせておりますけれども、あくまでも支援金という形で、災害の補償ではないという形で認識をしております。

○委員（成川幸太郎）例えばそういう形で出したとしたときに、国庫支出金としての結果としての報告はコロナ感染症対策の支援事業の国の支出金として認められるのですか。プラスする３万円が。

○経済政策課長（田中道治）コロナ交付金の充当の額につきましては、１００％事業についてコロナの支援金とか、それが１００％充当できるのですけれども、現在は７割程度の交付金の充当になっておりますので、もし仮にこのコロナ交付金の充当として非常に厳しいという部分があっても、通常の一般財源の中で対応できるというふうに考えております。

○委員（成川幸太郎）７割程度と言われた。補助率は１０分の１０じゃないですか。７割程度しか出ないんですか。１０分の１０出るのでしょう、これ。

○経済政策課長（田中道治）予算的には１０分の１０該当になります。

○委員（成川幸太郎）なぜ７割なんですか。

○経済政策課長（田中道治）コロナの交付金のいろんなたくさん事業がございますけれども、予算査定の中で基本的には７割の充当で予算組がされていることを御説明申し上げました。

○商工観光部長（有馬眞二郎）７割にしてあるのは、やはり額が最終的に重なったときに、そのとおりにいくか分からないという部分もありますので、一般財源も足して今の予算の中で入れてあるというような状況をしております。

○委員（成川幸太郎）予算としては５，６００万円、４，４８６万７，０００円は国庫支出金として補助率として１０分の１０、これはもっている。プラス一般財源で２，１２１万７，０００円は市の一般財源を出すと。トータルの中で７割ということですか。その５，６００万円の中の４，４００万円が７割というように捉えればいいのですか。

○経済政策課長（田中道治）コロナ対策交付金の財政課の査定の流れなんですけれども、７割が主流で査定をされると思いますが、今回の事業につきましては８割充当で実績を見て対応してい

くということになっております。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局に説明を求めます。

○経済政策課長（田中道治）それでは、産業建設委員会資料の３ページをお開きください。

１、新型コロナウイルス感染症に関する相談・問合せ状況につきまして、掲載のとおりでございます。２につきましては、新型コロナウイルス感染症に関する支援制度等の状況をさせて記載していただいております。

このうち、２の（４）新型コロナウイルス感染症関連商店街等にぎわい回復支援事業補助金につきましては、市内事業者が地域経済の回復に資する取組に対する補助でございまして、３ページから４ページに記載のとおりでございます。これまでに５つの事業を採択しているところです。

なお、５のリバーフロントマルシェ実行委員会につきましては、市内飲食店の代表者で構成され、川内川河川敷で飲食・物販・ライブ等を予定をされておりますけれども、感染状況等を踏まえまして、時期的な部分については延期されることも予想されると聞いております。

また、申請受付期間及び事業実施期間につきましても、現在の新型コロナウイルス感染拡大を踏まえまして、記載のとおり延長いたしたところでございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これを含め、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（塩田耕大郎）甑大橋開通甑島航路利用促進事業補助金等について伺いたいと思いますが、運行事業者に限定なのか、一般観光客の車両はどうか。それと、運賃の軽減がどのくらいなのか、ちょっと教えてください。

○専門職（高山和人）対象者につきましては、観光客を主に対象としております。航送料につきましては４割ほど軽減した形で売り出す予定であります。

○委員（塩田耕大郎）これはバス会社、いわゆる業者だけでなくて、一般の観光客が車両で行くときもということですか。

○専門職（高山和人）一般客のみが対象となっております。軽自動車、それと普通自動車を利用した航送料になります。

○委員（塩田耕大郎）あくまでも観光ですね。

○専門職（高山和人）そうです。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、経済政策課を終わります。

―――――――――――――――

△産業戦略課の審査

○委員長（森満　晃）次は、産業戦略課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第７８号　薩摩川内市工業等開発促進条例の一部を改正する条例の制定について

○委員長（森満　晃）まず、議案第７８号薩摩川内市工業等開発促進条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○産業戦略課長（堀ノ内　孝）それでは、議会資料で説明したいと存じますので、別途配付しております商工観光部の議会資料を御覧ください。

まず、条例改正の目的でございますが、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法、いわゆる新過疎法の公布施行に伴いまして、制度の拡充を行うため、所要の規定整備を図ろうとするものでございます。

次に、具体的な改正の概要でございますが、対象業種の適用拡大等の制度の拡充として、４点ございます。

１点目は、新たに対象業種として情報サービス業等、これは情報サービス業、インターネット付随サービス業、通信販売、市場調査等でございますが、これを追加しております。

２点目は、旧過疎法では一律２，７００万円超えとなっておりました取得価額の要件を、資本金

の規模及び業種に応じ、５００万円以上まで引き下げております。

３点目は、対象となる設備投資として、建物の新設・増設のみであったものを、改築、修繕等を追加しております。

４点目は、適用期間を３年間延長し、令和６年３月３１日までと定めております。

次に、その他の改正といたしまして、条例中の法律名称の変更等を行っております。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）改正されてよくなっていくことはいいのですけども、附則のところで、この条例は公布の日から施行し、改正後の薩摩川内市工業等開発促進条例の規定は、令和３年４月１日から適用するということになるって書いてありますけど、今になって何で４月１日に遡った適用になるんですか。

○産業戦略課長（堀ノ内　孝）国の法律改正のほうが３月の３１日、年度末まである意味長くかかったことがございまして、それからいろいろ作業をすることになったものですから、遡及適用という形で不利益にはならないということで、遡及適用をさせていただいております。

○委員（成川幸太郎）この遡及適用することで、何らかの影響ということが何か出ているんでしょうか。

○産業戦略課長（堀ノ内　孝）特に生じないものと考えております。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

これより討論、採決を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）討論はないと認めます。

これより採決を行います。本案を原案のとおり可決すべきものと認めることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）次に、審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○産業戦略課長（堀ノ内　孝）予算書の２３ページをお開きください。歳出でございます。

２款１項６目企画費の説明欄にございます次世代エネルギー利活用推進費は、今後の執行見込みに伴う補正といたしまして、地球にやさしい環境整備事業補助金を１，０００万円増額しようとするものでございます。

次に、同ページの一番下の段でございますが、２款１項８目国際交流費は、中国常熟市及び韓国昌寧郡との友好都市交流事業のための経費で、２４３万２，０００円増額しようとするものでございます。詳細につきましては、商工観光部の委員会資料で説明させていただきたいと存じます。

商工観光部の委員会資料の５ページを御覧ください。

まず１点目の地球にやさしい環境整備事業でございます。補助金補助対象は３設備ございますけれども、本年４月から７月までの実績及び例年の実績等により推計しましたところ、予算の不足が見込まれましたため、増額補正をお願いするものでございます。

次に、２点目の友好都市交流事業でございます。中国常熟市との交流事業は、今年で友好都市締結３０周年を迎えたことを記念し、さらなる交流を図るため、３０周年記念交流事業と両市の小学生による日中友好文化交流事業をオンラインで行うための必要な経費でございます。

韓国昌寧郡との交流事業は、来年、友好都市締結１０周年を迎える韓国昌寧郡との友好都市交流事業と、両都市中学生による日韓友好文化交流事業をオンラインで行うための必要な経費でございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

――――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局に説明を求めます。

○産業戦略課長（堀ノ内　孝）それでは、委員会資料の６ページを御覧ください。

東京２０２０パラリンピック競技大会におけるホストタウンとしての取組でございます。

（１）の出場選手の概要でございます。友好都市中国常熟市から４名の代表選手が出場されました。最終成績ですが、卓球男子は曹選手が男子シングルスで銀メダル、団体で金メダルを獲得されました。女子は周選手が女子シングルス・団体ともに金メダル、谷選手が女子シングルスで銅メダルを獲得されております。

水泳競技には李選手が出場され、女子５０メートル自由形で銀メダル、１００メートル自由形で金メダル、１００メートル背泳ぎで銅メダルを獲得されております。このように、全員が大活躍をされたところでございます。

（２）の情報発信でございます。出場選手を応援するため、市役所本庁舎２階総合案内及び国際交流センターに選手紹介パネルを展示するとともに、市ホームページやフェイスブック、インスタグラムなどに応援メッセージを掲載したところでございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これを含めて所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）私、一般質問で洋上風力に関する質問をさせていただきました。

その際に、有力地域になるための意見書を県が国に出さないといけないということで、その前に市が出すべきだろうということで、質問をさせていただいて、３月ぐらいに出したと言われたのですけど、この薩摩川内市が出した意見書というのは市担当課の意見でなくて、薩摩川内市総意の意見として出されてあるわけですよね。

○産業戦略課長（堀ノ内　孝）関係団体のほうに主管課、私の課ですけれども、いろいろと問い合わせ等いたしまして、市の上のほうまで確認をいただいた上で、返答したところでございます。

○委員（成川幸太郎）県のほうでは、いろいろな自治体がいろんな意見を出してきているということで、ある程度は出されるのですけども、薩摩川内市が出した、まとめた意見書というのは公開してもらえるんですか。

○産業戦略課長（堀ノ内　孝）どういった団体がどのような考えを持っているということになりますので、公開はちょっと難しいものと考えております。

○委員（成川幸太郎）いや、薩摩川内市としてまとめたものを出されるわけでしょう。各団体の意見じゃないけれども、ただ各団体の意見を取りまとめて、薩摩川内市の視点の意見というのは出されないのですか。出されていないのですか。

○産業戦略課長（堀ノ内　孝）薩摩川内市の意見というよりは、各団体の考え方というものをヒアリングをして、その内容を県にお伝えしたというほうが適切な内容だと思っております。

○委員（成川幸太郎）ニュアンスとして、いろいろ県のほうからの情報としては薩摩川内市は、非常に消極的な意見だったという形を聞いているのですけれども、結局各団体の意見をまとめただけではなくて、市としてはその関係団体の意見を吸い上げて、ただそれを流すのでは、市としての責任じゃないでしょう。市としては、それなりの考えを述べられているのではないのですか。

○商工観光部長（有馬眞二郎）今の成川委員の御質問に、一般質問のときにも私も答弁させていただいたのですけれども、関係の事業者の方から聞き取りを行って、その方々の分を県に伝えるということで、先ほど課長も答弁しましたけれども、関係者の個別の意見もありますので、それの分につきましては、答弁は控えさせていただきますということで、回答も差し上げたところです。

また、県のほうも同様な形で事業者につきましても、我々自治体につきましても、そういった情報につきましては出さないというふうに聞いているところでございます。

○委員（成川幸太郎）ただ世間では薩摩川内市は非常に否定的な意見を出したということが伝わってきているということは、その個別の団体の意見を教えてくれということではなくて、取りまとめた結果として市としてはどう考えるのか。市民に対してもその洋上風力であるとか、今の風力

とかこれまでも聞いていましたけど、市の考え方というのは何も示されないというのは、ちょっとおかしいのではないかなという気はします。

市として、市長を中心にして市民の意見を取りまとめたらこういう考え方でということにしないと、市民も反対運動、賛成運動がいろんな形で起こるのだけど、それをまとめた行政の意見等は出ない、今後例えば僕は風力発電が良い悪いは別にして、国として施策的にそれを進めていこうとされているときに、あまりにも民間団体とか業界団体任せになってしまうというのは、非常に卑怯じゃないかなという気もするのですけれども、そのようなお考えはないですか。

○商工観光部長（有馬眞二郎）県からの照会も含めて、いろいろ関係事業者の意見を市として聞いてほしいということでありましたので、そういったところを正確に県のほうに伝えさせていただいたという、今はそういう状況だというふうに御理解いただければと思います。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

以上で、産業戦略課を終わります。

――――――――――――――――

△観光・シティセールス課の審査

○委員長（森満　晃）次は、観光・シティセールス課の審査に入ります。

――――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）次に、審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○観光・シティセールス課長（橋口浩文）予算に関する説明書の４１ページをお開きください。

７款１項３目観光費における本課の補正は１億２，２７４万２，０００円の増額でございます。

産業建設委員会商工観光部資料で御説明をいたしますので、商工観光部の資料の７ページをお開きください。

１、シティセールスプロモーション事業費の増額は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により落ち込んだ観光入込客数の回復を目的に、アフターコロナにおける誘客を促進するため、電子雑誌等を活用したプロモーションを実施するものでございます。

ターゲットは、ＳＮＳ等を活用して旅行等の情報収集をされます２０代から３０代の若年層やら、ファミリー層をターゲットといたしまして実施する予定としております。その他、特産品などを組み合わせた情報発信により、幅広い世代にアプローチすることができるものと考えております。

内容、スケジュール等につきましては記載のとおりで、実際にタレントさんに来ていただきまして撮影が行われるものでございます。新型コロナウイルス感染症の状況等を見ながら、感染症対策を取った上で実施していく予定としております。

２、物産販売事業費の増額は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多大な影響を受けている市内飲食店の利用を促進し、経済活動の回復と消費拡大を図るとともに、感染予防に向けた取組を一層進めるため、キャッシュレス決済による消費者還元キャンペーンを実施するものでございます。

本年６月に同様の事業を実施しまして、事業者及び利用者からは大変好評をいただいた事業でございます。今回のキャンペーン期間は、１１月、１２月の２か月間を予定しております。ポイント付与は３０％で、付与上限は１回あたり４，０００円相当、２か月間で３万円相当でございます。新型コロナウイルス感染症の状況等を見ながら実施してまいります。

予算に関する説明書の４１ページにお戻りください。

旅行誘客事業費の減額は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中止が決定したイベントの補助金について減額するものでございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

○委員（成川幸太郎）キャッシュレス決済の消費喚起事業ですけども、これはもう６月、非常に好評で飲食店の方も喜んでいらっしゃったんですけども、６月の実績、３０％の付与額というのは総額幾らになったですか。

○観光・シティセールス課長（橋口浩文）
これにつきましては、後ほどの委員会資料の中でもちょっと説明をしようと思っていたところでございますが、委員会資料の１０ページのほうの６の（２）のところなんですけども、これにつきましては決済総額が６，６７６万円で、還元率は１，７４９万円でございました。

○委員（成川幸太郎） ６月が好評で１，７００万円でしたけど、今度は２か月で１億１，４００万円、相当期待をされているだろうなと思う。ただ、６月の実績のときに飲食店で、飲食店に直接行ったわけじゃないですけど、利用した一般市民に返ってきたわけですけど、使われる度合いが飲食店だけで、飲食店関連の事業者という方々が、飲食店に納品をしたりするところは全く対象外だけど、我々のところも対象にならないんですかというような要望もあったんですけども、今回、１億１，４００万円も予定される、飲食店からその関連業種のところをどこまでするか、調査するにしても広げる予定はないんですか。

○観光・シティセールス課長（橋口浩文）
今、広げる予定はないかということなんですけど、今回も飲食店に限ってのことで考えております。

ポイントバックをされた３０％のポイントバックにつきましては、市内のいろんな事業所、小売りであったりそのほかのところでも使える形になりますので、幅広く還元されていくのかなという、経済活動が活発になっていくんじゃないかなということで、考えているところでございます。

○委員長（森満　晃）そのほかありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑は尽きたと認めます。

ここで、議案第８３号の審査を一時中止します。

――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局に説明を求めます。

○観光・シティセールス課長（橋口浩文）
それでは、委員会資料の８ページを御覧ください。

１、令和３年度のイベント。（１）きゃんぱく事業でございますけれども、資料では９月１４日まで中止としてございますけれども、今回、まん延防止等重点措置及び県独自の緊急事態宣言の延長に伴いまして、９月３０日までを中止としたところでございます。

（２）観光イベントの開催予定につきましてですが、申し訳ございません。資料の追加をお願いしたいと思います。２０番の甑マラソン大会も中止が昨日、決まりました。このように、表のとおり多くのイベントが中止となっているところでございます。

中止となりましても、それまでに要した補助経費につきましては、支援することといたしております。実施の可否が空欄のイベントにつきましては、現在検討中または実施の方向で準備中でございます。

９ページを御覧ください。

２、旅行誘客事業は、６月の委員会で報告したもので、その後の状況についてお知らせいたします。

（１）個人旅行型甑島旅行商品造成事業につきましては、先ほど申しましたけども、これにつきましても９月３０日まで新規の予約販売を停止としたところでございます。

（２）薩摩川内市モバイルスタンプラリーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりまして、８月６日をもって事業を終了いたしまして、特典の応募につきましては３１日までとしたところでございます。実施期間、特典、実績につきましては、記載のとおりでございます。なお、参加者は５５５人でございました。

（３）ダイワキスマスターズスタイル２０２１でございますが、これも中止が決定をされました。

３、シティセールスプロモーション事業は、市長の施政方針でもございましたけども、東京２０２０オリンピック事前キャンプテストマッチの様子を、市の公式ユーチューブで配信をいたしました。試合前、セット間、あと試合終了後には、本市の観光ＰＲ動画も配信したところでございます。視聴回数は現在で１万１，０００回を超えて、国内・国外へのＰＲができたものと考えているところでございます。

１０ページを御覧ください。

４、地域おこし協力隊事業は、地域おこし協力隊を任用いたしまして、地域と一体となって地域

の活性化や食・旅・品の商品開発をするものでございますけれども、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって、なかなか任用できないところでございますけれども、７月１日付で樋脇地域に、９月１日付で下甑地域にそれぞれ１名任用したところでございます。

５、ふるさと納税の本年度の状況でございます。そこには、８月１７日現在の寄附額は、記載のとおりでございますけども、直近の９月１０日現在では１億５，０００万円でございます。対前年度の同月比の１４７％となっております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって、外出を控え自宅で楽しめる巣ごもり消費による増加と考えているところでございます。

６、新型コロナウイルス感染症対策事業につきましては、６月の委員会でも報告しておりますけれども、（１）のテイクアウト&デリバリーについては、昨年からずっと取り組んでおり、引き続き、今後も取り組みたいと考えています。

先ほど、ちょっとありましたが、（２）キャッシュレス決済でございますが、６月１日から３０日まで決済して、飲食店の方々からも「大変ありがたかった」ということで受けております。決済総額、還元率は先ほど申したとおりでございます。

（３）ウェブ販売促進事業は、ＥＣサイト薩摩川内ウェブショップ「薩摩國」で販売促進を行っているもので、市が送料や決済手数料を負担するために、特産品が大変お得に購入できるというもので、期間は前の６月でお話をしましたが、１２月３１日までとなっておりまして、４，０００個限定となっております。現在、８月末現在で２，６００個を超える、８７７万円の売り上げがあったところでございます。

最後に、資料はございませんけれども、１件お知らせでございます。映画「大綱引の恋」でございますけれども、本年５月７日から全国ロードショーが開催をされておりましたけれども、９月４日土曜日で全て終了をいたしました。上映された映画館数は８９館でございました。

今後の予定といたしましては、１０月４日から１０日までの７日間、ロサンゼルス日本映画祭で上映をされる予定となっております。オンライン上映と映画館上映のハイブリッドで開催されまして、マリリンモンローシアターで行われる特別上映作品に選定されたところでございます。

また、本年１２月末から１月上旬にかけまして、ＤＶＤの販売やネット配信ができるよう準備中と聞いているところでございます。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これを含め、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、観光・シティセールスを終わります。

―――――――――――――――

△スポーツ課の審査

○委員長（森満　晃）次は、スポーツ課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△議案第８３号　令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算

○委員長（森満　晃）審査を一時中止しておりました議案第８３号を議題といたします。

当局の補足説明を求めます。

○スポーツ課長（田中英人）それでは、予算に関する説明書の５６ページをお開きください。

当課分は、１０款６項１目保健体育総務費、事項、スポーツ振興事業費で補正額は１，２００万円の減額であります。

これは、本年９月２５日から２６日にかけて、川内川特設会場で開催予定でありました「第３０回全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会」について、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応等を踏まえ、全国ボート場、所在市町村協議会の事務局である、埼玉県戸田市が今年度の開催を中止する決定したため、全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会負担金の１，０００万円を減額するものでございます。

また、本年度開催予定でありました川内レガッタ大会が、同様に新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止となったことにより、川内レガッタ大会運営補助金の２００万円を減額するものであります。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これより質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、議案第８３号令和３年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち、本委員会付託分について質疑が全て終了しましたので、これより討論、採決を行います。討論はありませんか。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）討論はないと認めます。

これより採決を行います。本案を原案のとおり可決すべきものと認めることに御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）次に、所管事務調査を行います。

当局に説明を求めます。

○スポーツ課長（田中英人）所管事務調査では、スポーツ合宿の状況についてと、東京２０２０オリンピック事前キャンプ受入について説明いたします。

産業建設委員会資料の１１ページをお開きください。

１、スポーツ合宿の状況についてでございます。

本年４月から７月までの合宿の状況につきましては、団体数５団体で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度と比べましてもかなり減少しております。今後、アフターコロナを見据え、合宿希望団体と連絡を密に図るとともに、新型コロナ感染症拡大防止対策等の状況を踏まえながら、合宿誘致活動を展開してまいりたいと思います。

続きまして、２、東京２０２０オリンピック事前キャンプ受入についてでございます。

キャンプ期間につきましては、前回の委員会でも説明いたしましたが、アルゼンチンが７月１３日から２０日までの８日間で、選手・スタッフ総勢２１名、ベネズエラが７月１０日から１９日までの１０日間で、選手・スタッフ１７名でありました。

ベネズエラの出迎えは、７月９日からの豪雨と重なり、実施できず、１０日の練習につきましても、チームも災害優先と配慮され急遽中止といたしました。コロナ禍の中で、スポーツ教室や公開練習及びパブリックビューイング等直接的な交流はできませんでしたが、出迎え、オンラインによる歓迎式、テストマッチ、見送り等本市の公式ユーチューブで配信を行い、特にテストマッチでは先ほどの観光・シティセール課の所管事務でもありましたが、世界中で１万回を超える視聴がございました。

また、両チームの歓迎式の模様を、ＧＩＧＡスクールを利用し、市内４小学校で視聴していただきました。アルゼンチン・ベネズエラ両チームとも大きなトラブルもなく事前キャンプを終えられ、アルゼンチン代表チームは１９８８年ソウルオリンピック以来の銅メダルを獲得されました。

今回の事前キャンプで関係者とのパイプもつなげられたことから、バレーボールに限らず、他の競技合宿等の受入れについても、協議・検討することを確認したところでございます。

今後、アフターコロナにおける感染防止等対策を講じ、受け入れ体制の強化を図りながら、合宿誘致を進め、交流人口の拡大に向け展開してまいりたいと考えております。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これを含め、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、スポーツ課を終わります。

―――――――――――――――

△国体推進課の審査

○委員長（森満　晃）次は、国体推進課の審査に入ります。

―――――――――――――――

△所管事務調査

○委員長（森満　晃）議案はありませんので、所管事務調査を行います。

当局に説明を求めます。

○国体推進課長（石原勝浩）資料はございませんが、「第７６回国民体育大会　三重とこわか国体」及び「第２１回全国障害者スポーツ大会三重とこわか大会」の中止について、御説明させていただきます。

本年９月から１０月にかけて三重県で開催予定

でありました、「三重とこわか国体・三重とこわか大会」につきましては、新型コロナウイルスの驚異的な感染拡大による全国的な感染状況の悪化や、競技会場地の三重県が緊急事態宣言の対象地域となったことなどを受けまして、主催者である、日本スポーツ協会、日本障害者スポーツ協会、文部科学省、三重県の４者で協議され、８月２６日、日本スポーツ協会令和３年度第２回国民体育大会委員会により、今年の中止が決定されたものであります。

秋季国民体育大会の中止につきましては、昨年の鹿児島国体に続いて２年連続で２回目であります。

なお、「三重とこわか国体・三重とこわか大会」の延期につきましては、今月２４日に開催される三重国体総会において、市町や競技団体の意見を聞いて方向性を決めるとのことであります。

本市におきましては、日本スポーツ協会や三重県及び令和４年会場地の栃木県をはじめとする先催県などの動向を踏まえ、新型コロナウイルスに関する最新の情報を収集・分析した上で、令和５年の「燃ゆる感動かごしま国体」の開催準備を加速させてまいりたいと思います。

○委員長（森満　晃）ただいま当局の説明がありましたが、これを含め、これより所管事務全般について質疑に入ります。御質疑願います。

［「なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）質疑はないと認めます。

以上で、国体推進課を終わります。

―――――――――――――――

△委員会報告書の取扱い

○委員長（森満　晃）以上で、日程の全てを終わりましたが、委員会報告の報告書の取りまとめについては、委員長に御一任いただくことで御異議ありませんか。

［「異議なし」と呼ぶ者あり］

○委員長（森満　晃）御異議なしと認めます。よって、そのように取り扱います。

―――――――――――――――

△閉　　会

○委員長（森満　晃）以上で、産業建設委員会を閉会いたします。

薩摩川内市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに署名する。

薩摩川内市議会産業建設委員会
委 員 長　　森　満　　晃